

一一 ロンドン国際経済会議

1 「経済財政会議準備委員会第一次会合報告」

經濟財政會議準備委員會第一次會合報告

(編注二)

昭和七年十月—十一月

經濟財政會議準備委員會第一次會合報告

目 次

総 説

第一章 準備委員会ノ組織及任務

第二章 準備委員会總会

第三章 財政分科会

第一節 経過概要

第一項 議事経過並主要問題ニ関スル見解ノ相異

第二項 通貨及信用政策

第一、 国際共通金本位制度ニ復帰ノ必要

第二、 一般的金本位制度復帰ノ条件

第三、 将來ニ於ケル金本位運行上ノ問題

第四、 銀問題

第三項 物価ノ変動

第四項 為替制限

第五項 資本ノ移動

第六項 公共事業

第七項 一般

第二節 財政分科会ノ事業ニ関スル「ノート」

第四章 経済分科会

第一節 経過大要

第一項 議事経過議事項目並手続

第二項 通商障碍問題

第三項 経済及財政ノ相関関係

第四項 公共事業

第五項 「ボイコット」問題

第六項 関税政策問題

第七項 関税条約問題

第八項 産業協定問題

第九項 間接的産業保護問題

第十項 其ノ他ノ問題

第二節 経済分科会「ノート」

第五章 最終総会

附属書 目次

第一号 準備委員会議長ヨリ Organisation Committee 議長宛書簡

第一号 準備委員会財政分科会ノ事業ニ関スル「ノート」

第三号 準備委員会経済分科会ノ事業ニ関スル「ノート」

第四号 準備委員会議長ヨリ新聞紙等ニ対スル発表文

第五号 準備委員会総會議事録

第六号 財政分科会議事要領

第七号 経済分科会議事要領

第八号 外国為替管理制度ニ関スル調査

第九号 外国貿易管理制度ニ関スル調査

第十号 議事日程案

第十一号 準備委員会参加人名表

第十二号 財政関係問題一覧表

経済財政會議準備委員会第一次会合報告

総 説

経済財政會議準備委員会ハ十月三十一日國際聯盟本部ニ於テ開催セラレ議長選挙及議事手続ヲ議シタル後即日財政分科会及經濟分科会ノ両者ニ分レ十一月七日ニ至ル迄ニ連日労山決議所示ノ審議項目ニ付講究シ同日午後總会ヲ開キ各分科会講究ノ結果ヲ記述セル「ノート」ヲ議題トシテ討議シタル後議長ヨリ Organisation Committee 議長ニ対シテ右會議ノ経過ヲ報告スルコト、第二次会合ヲ開キテ引続き審議スヘク其ノ時期ニ付テハ Organisation Committee 議長ト協議決定スルコト、シテ一応休会セリ尤モ經濟分科会作成ニ係ル「ノート」ニ付テハ其ノ確定案当日未完成ナリシ為十一月八日会合ヲ開キ之ヲ完成スル所アリタリ

準備委員会カ右ノ如ク短期間ヲ以テ休会シタルハ現時四團ノ情勢ニ察シ經濟財政會議ノ議題タルヘキ諸事項ニ関シ具体的且細目ニ亘リ審議ヲ遂クルハ未タ適當ノ時期ニアラスト認メタルニ因ルノミナラス本会合ニ於テハ諸国委員ノ一般的且豫備的ノ意見交換ヲ試ミ諸国政府大体ノ方針ヲ知得シタル上徐ニ今後ノ対策ヲ考慮決定スルコト寧口賢明ノ措置ナリト思考シタルニ因レリ

以上ノ如クニシテ準備委員会第二次会合ニ於テハ經濟財政會議ノ議題タルヘキ事項具体化スヘク又之ニ対スル諸国政府ノ態度方針等明確トナルヘシ本邦トシテモ此ノ休会期間ヲ利用シテ今後ノ対策ニ付篤ト講究スルコト適當ナリト思考ス以下章ヲ分チテ此次会合ノ経過並結果ニ付記述スヘシ

第一章 準備委員会ノ組織及任務

第一、準備委員会ノ組織

一、準備委員会ノ委員

準備委員会ノ組織ハ労山會議ノ決議ニ基キ獨白仏英伊及日ノ六國政府ノ任命シタル委員各二名ニ米国政府ノ任命シタル委員一名ヲ加ヘ更ニ財政問題ニ関シ國際決済銀行ノ指名セル委員一名及聯盟理事会ノ指名ニ依ル財政問題ニ付資格アル者及經濟問題ニ付資格アル者各三名ヲ以テ組織セラル然ルニ Organisation Committee 並於テハ更ニ國際勞働事務局並國際農業協會ノ代表者ノ参加ヲ適當ト認メ準備委員会ニ対シ右両機關ノ參加協力方ヲ勧奨シタルカ準備委員会ハ第一回總会ニ於テ其ノ參加ヲ決議シタリ尤モ議事ノ全部ニ亘リテ参加セス必要ニ応シテ出席意見ヲ述フルコト、セリ

尚聯盟理事会ハ其ノ財政問題 rapporteur (諾威) ト準備委員会トノ聯絡ヲ図ル為「ヤーン」氏 (Jahn) (諾威) ノ委員会出席ニ付勧奨セルカ本件モ亦準備委員会ニ於テ承認シタルヲ以テ結局準備委員会ノ委員ハ左記ノ如クナレリ獨乙委員

ロツチ・イー・ポッセ (H. E. Posse)

ウイルヘルム フオツケ (Wilhelm Vocke)

エミール フランキ (Emile Francquy)

ヴァン ランゲンホーベ (Van Langenhove)

獨乙國經濟省局長

「ライヒスバンク」理事

名譽國務大臣 元大藏大臣

外務省事務次官

白耳義委員

エミール フランキ

ヴァン ランゲンホーベ

米国委員

エドマンド イー・デイ (Edmund E. Day)

ジョン エッチ・ウイリアムス (John H. Williams)

仏國委員

シャール リスト (Charles Rist)

ジヤン パルマンティエ (Jean Parmentier)

伊太利委員

アルベルト ベネデューカ (Alberto Beneduce)

ギゼペ タッナリ (Guiseppe Tassanari)

本邦委員

河合 博之
津島 壽一

英國委員

サー フレデリック タグリウ・リース・ロス (Sir Frederick W. Leith-Ross) 英國政府經濟顧問

エム・エフ・フィリップス (M. F. Phillips)

聯盟理事会指名委員

財政問題

レオン バランスキー (Léon Baranski) (国籍波蘭) 波蘭銀行重役

ジヤン ムジー (Jean Musy) (国籍瑞西) 聯邦參議院議員 聯邦理財關稅局長

リスト リティ (Risto Ryti) 經濟問題

ジャン ドガオラセック (Jan Dvoracek) (国籍芬蘭) 芬蘭銀行總裁

ハヤン ドガオラセック (Jan Dvoracek)

(国籍智惠古) 「ハイヴノステンカ」銀行重役、元商務大臣
(国籍亞爾然丁) 元大藏次官
(國籍匈牙利) 特命全權公使 外務省通商局長
(國籍和蘭) 和蘭銀行總裁
(國籍米國) 國際決済銀行副總裁
(國籍諾威) 諾威通貨為替委員會會長

アルフレッド ド リツクル (Alfred de Nickle) (國籍英國) 國際決済銀行指名委員

ラウル プレビシシュ (Raul Prebisch) (國籍智利) 國際勞動事務局代表

レオナルドス ジュイ・ヒー・トリップ (Leonardus J. A. Trip) (國籍荷蘭) 國際勞動事務局代表

レオノ ヘーベザー (Léon Fraser) Organisation Committee の承認ヲ經準備委員会ノ任命セル委員

チー・ヤーン (G. Jahn) (國籍德國) 國際勞動事務局代表

外ニ
ラウル プレビシシュ (Raul Prebisch) (國籍智利) 國際勞動事務局代表

ジユウオー (Jouhaux) (國籍芬蘭) 國際農業協會代表

エ尔斯テツド (Oersted) (國籍丹抹) (國籍法國)

デミチエリス (de Michelis) (國籍伊太利) (國籍芬蘭)

尚國際商業會議所ノ代表者ノ參加ニ關シテハ準備委員会第一回總会ニ於テ英國委員ヨリ該機關ハ國際經濟財政問題ノ処理ニ關シ密接ノ關係アルヲ以テ適當ノ方法ニ依リ討議ニ參加スルノ機會ヲ与フルコト適當ナルヘシトノ提議アリタルカ準備委員会ハ Organisation Committee の本件ニ關スル意嚮ニ鑑ミ必要アルトキハ文書ノ方法ニ依リ該機關ノ意見ヲ徵シタル上更ニ必要ト認ムルトキハ代表者ヲ招致シ意見ヲ聽取スルコト、セリ（尤モ今回会合ニ於テハ準備委員会ハ該機關ノ意見ヲ徵シ又ハ其ノ代表者ヲ招致スルニ至ラサリキ）

11' 総会及分科会
總会ハ右委員全体ヲ以テ組織シタルカ審議事項ノ区分ニ依ル分科会ニ於テ主トシテ實質的協議ヲ遂ケタル為總会ヲ開キタルハ今次会合ニ於テ僅ニ三回ニ過キス分科会ハ財政分科会及經濟分科会ノ兩者トシタルカ右ハ労山決議ニ於テ指示シタル處ニ依ルモノニシテ今次会合ニ於ケル兩分科会委員配属ヲ示セハ左ノ如シ

財政分科会委員
ウイルヘルム フォツケ (独)
エミール フランキ (白)
ジヨン エッチ・ウイリアムス (米)
シヤール リスト (仏)
アルベルト ベネデユウチエ (伊) 委員長
津島 壽一 (日)

エム・エフ・フイリップス

(英)

レオン バランスキ

(聯、波)

ジャン ムジー

(聯、瑞西)

リスト リティ

(聯、芬)

レオナルドス ジエイ・エー・トリップ

(國際決済銀行、和)

レオン フレーザー

(國際決済銀行、米)

経済分科会委員

エツチ・イー・ポツセ

(独)

ヴァン ランゲンホーヴ

(白) 委員長

エドモンド イー・ディ

(米)

ジャン パルマンティエ

(仏)

ギゼペ タシナリ

(伊)

河合 博之

(日)

サー フレデリック ダヴィウ・リース・ロス

(英)

ジャン ドヴォラセツク

(聯、智)

アルフレッド ドニツクル

(聯、匈)

ラウル プレビッシュ

(聯、阿)

両分科会共通

デー・ヤーン

(諾)

国際労働事務局及国際農業協会代表者ハ必要ニ応シ隨時両分科会ニ出席スルコト既述ノ如クナルカ今次会合ニ於テハ国際土木事業ノ計画ニ関シ審議セラレタル際両分科会ニ出席シテ其ノ所見ヲ開陳シ尚最終総会ニモ出席セリ尤モ準備委員会議長ニ選挙セラレタル「トリップ」氏ハ元來財政問題ニ付参加スル為国際決済銀行ニ依リ指名セラレタル者ナルカ議長トシテハ総会ノ決定ニ基キ両分科会ニ隨時出席発言シ得ルノ自由ヲ与ヘラレタリ而シテ同氏ハ両分科会ニ出席シ其ノ意見ヲ陳述スルト共ニ両分科会ノ聯絡協調ニ貢献スル処アリタリ

第一、準備委員会ノ任務

準備委員会ハ労山決議ニ基キ経済財政會議ノ審議事項タル財政問題及經濟問題ニ付準備的審査(Preliminary Examination)ヲ委ネラレタルモノナル処 Organisation Committee ハ経済財政會議ニ提出セラルヘキ問題ノ準備的審査ヲ為シ且「會議ノ説明付議題案」(Draft annotated agenda)ヲ作成スヘキ旨ヲ決定セリ

而シテ右任務ノ範囲ニ於テ如何ナル程度ノ準備審査並ニ會議々題案ヲ作成スヘキヤハ明示セラレサルモ會議ノ成功ヲ期スル為ニハ單ニ議題タルヘキ事項ヲ網羅列挙スルニ止マラス更ニ進テ右議題タルヘキ事項ニ関シ會議ニ対シ勧奨スヘキ解決案ヲ準備スルヲ以テ其ノ任務ト認メ此ノ方針ノ下ニ協議ヲ重ヌルコト、ナリタリ此ノ点ハ十月三十一日委員会総会ニ於テ「アヴノール」(Avnol) 氏ノ為シタル挨拶中ニモ言及セラレタル処ニシテ同氏ハ曰ク

「準備委員会ハ議題準備ノ為ニ招集セラレタルモノニシテ議題ハ討議ノ題目ノ表ヲ意味スルモ其ノ下ニ於ケル勧奨ナカルカラス表ヲ作成スルニハ之ヲ選択スルノ力ヲ要ス現下ノ状況ニ於テハ總テノ問題ノ解決ヲ得ルコトハ困難ニシテ委員会ハ其ノ選択ニ当リ解決ヲ見出スノ可能性又ハ蓋然性ニ注意スルヲ要ス過去ニ於テ經濟問題審議ノ為聯盟ノ招集セル會議乃至会合ノ失敗セルモノアルハ國際經濟状態ノ動搖ニ依ルモノナルカ今ヤ世界經濟ノ進展ハ全ク非常例外ノモノニシテ會議カ多少ナリトモ協定ノ要素ヲ發見シ得タランニハ成功ト謂フヘク何等カノ協定ニ到達スルコト絶対必要ニシテ此ノ点ハ委員会ノ討議ニ當リ常ニ記憶ニ留メラレ度シ」ト

右ノ如ク委員会ノ任務ハ願ル重大ニシテ経済財政會議ニ関シ一種ノ豫備的交渉並解決案ノ作成ヲ企図スヘキ地位ニ在リ之カ為ニ委員会ノ審議ハ必シモ容易ナルヲ得ス現ニ第一次会合ニ於テ議事ノ進行挾々シカラサリシハ右委員会ノ任務重大ナルノ致シタル処ト謂フヘキナリ

第二章 準備委員会総会

一、準備委員会ハ一九三一年十月三十一日午前十一時國際聯盟本部ニ第一回総会ヲ催シ「ドヴォラセク」氏（智恵古）及「プレビッシュ」氏（阿爾然丁）ノ外全委員出席國際聯盟事務次長「アヴノル」氏ヨリ開会ノ挨拶アリタル後「トリップ」氏（國際決済銀行）ヲ議長ニ選挙シ同氏議長ノ下ニ先ツ手続問題ニ関シ議事ハ非公開トシ且議事ノ内容ハ國際聯盟情報部ノ「コンミニツケ」ニ依リテノミ外部ニ發表スヘク委員各自新聞紙等ニ対シテ發表ヲ為サムルコト、總会ノ議事ニ付テハ「ミニユウト」ヲ作成配付スヘキモ各分科会ノ議事ニ付テハ「ミニユウト」ヲ作成セス要点ノミヲ摘記シタルモノヲ作成配付スルコトニ決定セリ

二、次テ財政問題ノ Rapporteur (諾威) トノ聯絡ヲ圖ル為「ヤーン」氏（諾威）ヲ準備委員会ノ委員トスル件ニ付諸員異議ナク承認シ又國際労働事務局及國際農業協會代表ヲ準備委員会ノ準備事項中是等代表ノ特ニ權威アルモノ、討議ニ参加セシムルノ件ニ付テハ仏國委員「リスト」氏ハ之カ参加ノ必要ヲ説キ英國委員「リース・ロス」氏ハ準備委員会ノ準備事項中如何ナル事項カ之ニ該當スルヤニ付問題アリト為シタルカ國際労働事務局代表ヲ招致シ之ト協議スルコト、シ結局其ノ參加ヲ見ルコト、ナリ、尚國際商業會議所ノ參加ノ件ニ付テハ第一章第一ノ一中ニ記述シタルカ如ク必要アルトキハ文書ニ依リ意見ヲ徵シ又ハ代表者ヲ招致スルコトニ決セリ

三、準備委員会ハ同日午後三時半其ノ第二回総会ヲ催シ（出席者同前）議長ヨリ委員会ノ講究事項ニ関シ一般的討議ヲ為

スヘキヤ否ヤヲ諮リタルカ諸員ハ議事促進ヲ図ル為、寧口直ニ財政及經濟兩分科会ニ分レ各分担事項ノ審議ヲ開始スルヲ可トスルニ一致シ議長ニ對シテハ隨時兩分科会ノ何レニモ出席發言スルノ自由ヲ認メ茲ニ兩分科会ニ入レリ依テ以下兩分科会ノ経過及結果ニ付記述スヘシ

第三章 財政分科会

第一節 経過概要

第一項 議事経過並主要問題ニ關スル見解ノ相異

第一、議事経過

財政分科会ハ十月三十一日午後第一回会合ヲ開キ委員長ニ伊国委員「ベネデュウチエ」氏ヲ選挙シタル後直ニ審議ニ入り

十一月七日ノ会合ニ至ルマテ会ヲ重ヌルコト十一回ニ及ヘリ即チ左ノ如シ

十月三十一日 午後 第一回

十一月 一日 午前 第二回

同 同

十一月 二日 午前 第四回

十一月 三日 午前 第六回

同 同

十一月 四日 午前 第八回

十一月 五日 午前 第十回

本分科会ニ於ケル議事順序ニ関シテ委員長ハ豫テ国際聯盟書記局ニ於テ労山會議ノ決議中ニ指示セル項目ニ基キ作成セル議題表（附屬書第十二号）ニ依リ（一）通貨及信用政策（二）物価水準（三）為替上ノ困難及（四）資本ノ移動ノ順序ヲ以テ審議スヘク第一回会合ニ於テハ通貨及信用政策ニ付諸員ノ意見交換ヲ求メタル處英國委員「フイリップス」氏ハ通貨問題ヨリモ物価問題カ先決問題ナルヲ以テ物価水準問題ヨリ審議スルヲ適當トスヘシトノ意見ヲ出シタル結果、之ヲモ併セテ一括議題トセルカ先ツ國際的ニ单一通貨本位ヲ採用スルノ要否及若之ヲ必要トセハ其ノ本位如何ニ付極メテ概括的ニ意見ヲ交換セリ次テ第二回会合ニ於テハ金本位復帰ノ要件及金本位復帰ト物価トノ関係、第三回会合ニ於テハ物価問題及為替上ノ困難、第四回会合ニ於テハ引続キ為替上ノ困難ニ付審議シ來リタル処元來財政分科会ノ委託事項ハ其ノ性質上相互密接ノ関係アリ截然區別スルコト能ハサル事態ニ在リ其ノ議事極メテ雖然トシテ實際上殆ト進行ヲ見サル状態ニ在リシカ第五回会合ニ於テ委員長ヨリ突然中央銀行間ノ協力問題ヲ議題トシテ意見ノ交換ヲ為スヘシト提議スルニ及ヒ委員中ヨリ斯テハ議事雖然且具体的結果ニ到達スルコト極メテ困難ナルヲ以テ議事方法トシテハ先ツ既ニ金委員会報告其ノ他ニ於テ勸奨セル金本位復帰条件即政治上ノ懸案解決戰債問題ノ解決、貨物勞務並資本移動ニ関スル問題、対内的及對外的均衡ノ問題等ニ付順次議事ヲ進メ贊否ヲ明ニスルコト可然トノ提議出テタル為第五回、第六回及第七回ノ会合ニ亘リ再ヒ金本位復帰条件ニ立チ戻リ其ノ障礙タル非經濟的及非財政的問題、貨物及勞務移動ノ障碍、短期及長期ノ資本移動ニ關スル問題、国内的及國際的ノ均衡ニ關スル問題、金為替本位ニ關スル問題、金準備率引下ニ關スル問題餘裕金準備ノ利用ニ關スル問題等ニ付各委員ノ意見開陳アリ次テ第八回会合ニ於テハ資本移動ニ關シ審議シ第九回会合ニ於テハ労働事務局代表ヨリ失業救濟等ノ為ニスル國際土木事業ニ關スル説明アリ又銀問題ニ關シ極メテ簡単ニ意見交換アリ之ヲ以テ大体意見ノ交換ヲ了シタル處、

各委員間就中金本位國側委員ト金本位離脱國側委員ト意見ノ相違スル点多ク此ノ階程ニ於テハ諸員ノ意見一致ヲ図リ具体的の解決案ヲ作成スルハ困難ナルヘキヲ以テ今次会合ニ於テハ諸問題ニ關スル主要意見ヲ摘出列挙セル「ノート」ヲ作成シ第二次会合迄ニ篤ト講究スルコト、セリ即チ十一月五日午前ノ第十回会合及七日午前ノ第十一回会合ニ於テ「ノート」草案ヲ審議採用シ十一月七日午後ノ最終總会ニ提出スルニ至レリ事情斯ノ如キヲ以テ「ノート」記述ノ事項中ニハ全員一致ノ同意見アルト同時ニ必シモ見解一致セサルモノヲ併記シ居リ单ニ「ノート」ヲ一読シタルノミニテハ事態明ナラサルモノアルヲ免レス依テ次項以下ニ於テ各問題ノ審議ニ當リ表明サレタル主要意見ヲ概述スヘシ

第二、主要問題ニ關スル見解ノ相違

本分科会ニ於テ表明セラレタル主要意見ノ概述ニ先チ茲ニ諸員ノ見解カ如何ナル点ニ於テ著シク相違シタルヤ又此ノ相違ハ如何ナル事由ニ基クモナルヤニ付一言シ置クコト会議ノ空気及議事ノ成行ヲ示ス上ニ於テ適當ナリト思惟ス（特ニ本分科会ノ議事記録ハ極メテ簡単ニシテ且大部分ハ諸員意見ノ結論ノミヲ掲記シタルノミナラス多数側意見ノ記述ニ偏シタル感アルヲ以テ上記ノ点ニ言及シ置クコト一層必要ナリト思考ス）

抑々財政分科会ニ於ケル主要問題カ通貨政策ニ在ルコト論ナキト共ニ通貨政策ニ付テハ其ノ主眼点カ金本位復帰問題ニ帰スルコト亦言ヲ俟タサルヘシ從テ本分科会ノ審議ノ大部分ハ本問題ニ集中サレタリト謂フヲ得ヘシ然ルニ本問題ニ關シ委員中意見ノ相違ヲ來セリ即チ分科会ヲ構成セル委員中仏米ノ如ク金本位ヲ維持シ且巨額ノ金ヲ保有セル國ヲ代表セル委員ハ勿論之ト大体類似的地位ニ在ル和蘭、瑞西始メ白耳義等諸國ノ委員ノ如キ何レモ金本位離脱國ノ通貨不安定ニ依ル悪影響ヲ除去スルノ必要ナルコトニ於テ一致シ成ルヘク速ニ國際的金本位復帰ノ必要ヲ強調スル態度ヲ採リタリ

伊太利亦之ニ賛シ独逸モ債務整理ノ条件ヲ有スル点ハ別トシテ金本位復帰ノ成ルヘク速ナランコトヲ希望スルノ態度ヲ採リタリ

加之國際決済銀行ノ本分科会參加ハ右諸國委員ノ態度及意見ヲ有力ナラシムルニ与ツテ力アルコト言ヲ俟タス蓋シ同行ハ

本年七月十一日ノ重役会ニ於テ金本位ヲ以テ最善ノ通貨制度トナシ其ノ再建ニ必要ナル準備手続ヲ講スヘク之力為ニ同行ハ協力スヘキ旨ヲ決議表明シ本問題ニ対スル態度極メテ明瞭ニシテ経済財政會議ノ処理スヘキ通貨問題ニ関シ同行之ニ協力スル以上右決議ノ趣旨実現ニ努力スルハ当然ノコトナレハナリ而シテ偶々分科会委員ノ顔触ヲ見ルニ「フレーザー」氏「トリップ」氏ノ外「フランキ」氏及「ベネデュウチエ」氏ノ如キ何レモ同行重役タル地位ヲ有シ居レル点亦觀過スルヲ得ス

上述ノ如キ事態ニ於テ本分科会ノ多数意見カ成ルヘク速ニ國際的金本位復帰ノ必要ヲ強調シ且金本位維持国ノ立場ヨリ見タル復帰条件ノ講究ニ傾カントスルハ蓋シ勢ノ免レサル処ナリ

然ルニ一方英國委員ノ態度ハ之ト必シモ一致スル能ハス英國ハ金本位離脱國ニシテ其ノ金準備減少シ米仏両國ノ金集中ニ比シ著シク權衡ヲ失セリ其ノ國際金融上ノ地位未タ回復シ得タリト云フヲ得ス事態斯ノ如キ現状ニ於テ金本位復帰ノ方針ヲ早急確定言明スルコトヲ避ケントスルノ態度ヲ持シ仮ニ将来ノ通貨制度トシテ國際金本位復活ノ外ナシトスルモ之カ実現ノ条件ニ付テハ自ラ前記諸國委員ト其ノ見解ヲ同シウスルヲ得サルモノアリ特ニ去ル八月「オツタワ」會議ニ於テ英帝國諸領ト共ニ一致シタル通貨及財政問題ニ関スル決議並声明ニ於テハ金本位復帰ノ必要ヲ明示セスシテ物価引上ノ必要ヲ強調シ經濟狀態ノ改善実現シタル後ニ非レハ通貨本位確定スルヲ得ストスルノ方針ヲ表示セルアリ

右決議ハ分科会ニ於ケル英國委員ノ指針ニシテ前記金本位維持国諸員ノ見解ト相違ヲ來ス主要点ナリ

金本位維持国諸員ハ通貨安定、金本位復帰ヲ以テ經濟回復ヲ促進スル主要方策ナリトシ之カ實現ヲ図ルコト即世界不況ノ打開ヲ致ス所以ナリトシ物價引上ハ金融政策其ノ他人為の方策ニ依テ實現シ得ス從テ物價昂騰ハ若实行可能ナリトセハ望マシキコトナルモ直接効果アルヘキ方策ナク寧ロ金本位復帰ニ依ル世界經濟ノ回復ニ依リ此ノ目的ヲ達スヘシト為ス意見ヲ抱懷ス茲ニ於テ英國委員ト意見ノ間隔免レス

右意見ノ相異ハ分科会ノ審議ニ亘リ殆ト議題各項ニ亘リ繰返シ現ハレ來リ議事ノ進行ニ難渋ヲ生セシメタリ

本邦委員ノ態度ハ金本位維持国並金巨額保有國委員ノ立場ト異リ仮ニ金本位ニ復帰スルトスルモ其ノ復帰ノ条件ニ付テハ慎重考慮ヲ要スルコト及之カ運行ノ方法等ニ付從来ノ金本位ニ於ケルカ如キ失敗ヲ繰返スコトナキ保障ヲ必要トスルコト並金偏在ノ事実ヲ指摘シ之カ匡正ノ必要アルコト等ニ言及シタル結果其ノ見解自ラ英國委員ノ所見ト相通スルニ至リ英國委員ハ本邦委員ノ支持ニ依リ其ノ主張ヲ強ムルノ態度ヲ採リタリ
要之本分科会ニ於ケル意見交換ノ結果ハ右根本問題ニ付テ意見ノ懸隔アリ具体案作成ハ諸員ノ披瀝セル意見ニ付今後慎重ノ講究ヲ遂ケ第二次会合ニ於テ更ニ討議スルコト、ナリタル次第ナリ

第二項 通貨及信用政策

第一、國際共通本位制度ニ復帰ノ必要

財政分科会ハ先ツ討議ヲ國際共通本位制度ヘノ復帰問題ニ傾倒セリ而シテ此ノ点ニ関シ國際共通本位制度ノ望マシキコトニ付テハ諸員間異議ナカリシモ此ノ共通本位ヲ金本位トスヘキヤ否ヤニ付テハ当初議論アリ「リスト」氏（仏）「ウイリアムス」氏（米）及「フレーザー」氏（國際決済銀行）等金本位國側委員及國際決済銀行指名ノ委員ハ何レモ無条件ニ金本位ヲ最善ノモントナシ又世界經濟ノ回復ノ為ニハ速ニ金本位離脱國カ金本位ニ復帰スルコト肝要ナリト説キタルモ（「リティ」氏（芬）ハ理論的ニハ統制通貨ヲ適當トスルモ實際上ハ金本位ニ勝ルモノナシトス）「フライソップス」氏（英）ハ当初ハ無条件ニ之ヲ承認セス「オツタワ」會議ノ財政決議ニ於テ國際貨幣本位制度（International Monetary Standard）ト云ヒ國際金（gold）本位制度ト云ハサリシコトヲ引用シ該決議ニ於テハ經濟財政會議ニ於テ銀問題等ヲモ論議スルコト、ナリ居ル關係上金本位ノ文字ヲ挿入セサリシモノナルコトヲ説キ且金本位ハ理論上之ニ贊成スルモ其ノ運用確保ヲ要スルハ勿論之ニ復帰スルノ時期、平価及採用スヘキ金本位ノ態様等ハ各國ノ適當權限機關（Proper Authority）ニ於テ其ノ必要及内外ノ經濟狀態ヲ考慮シテ決定スヘキモノナリトシ金本位國側ト金本位離脱國側トノ意見対立ノ状ヲ呈シタリ（第二節「ノート」第二通貨及信用政策ノ劈頭參照）

即本邦委員ハ本邦ハ現ニ金本位ヲ離脱シ居ルモノニシテ此ノ点ヨリ見レハ英國委員ト立場ヲ同シウスルモノナルモ若金本位復帰ノ諸条件ニシテ満足セラレ且金本位ノ円満ニ運行セラル、保障アルニ於テハ本邦政府トシテハ金本位復帰ニ障害アルヘシト信セス從テ主義ノ問題ハ暫ク留保シ討議ノ順序方法トシテ金本位復帰ノ必要条件ニ付審議スルコト、シテハ如何トナシタルニ諸員之ニ賛シ茲ニ金本位復帰ノ条件ニ付審議スルコト、ナレリ

第二、一般的金本位制度復帰ノ条件

一、自由運行ノ金本位制度へノ一般的復帰ヲ可能ナラシムヘキ条件如何ニ付各委員ヨリ意見ノ交換アリタルカ之ヲ要約スレハ(イ)信賴ノ回復並目下懸案ノ或種政治的問題ノ解決ノ必要(ロ)國際貸借機構ヲ改善シ金準備不足国ニ金獲得ノ可能性ヲ供与スル必要(ハ)金本位円満運行ニ関スル一般的諒解ノ必要(二)国内の諸対策(ホ)物価トノ関係等ニシテ此ノ点ハ後掲第二節「ノート」第二通貨及信用政策ノ項ニ列挙セラレタルカ以下各項目ニ付主要意見ヲ摘記スヘシ

(イ)一般的金本位復帰ノ為ニハ先ツ信賴ヲ回復スルノ必要アルモノミナラス其ノ解決ハ信賴ノ回復ニ貢献スル処大ナリト為スコトニ

二、一般的金本位復帰ノ為ニハ先ツ信賴ヲ回復スルノ必要アル又目下懸案タル或種政治的問題ハ有効ナル財政上及経済上ノ手段ニ對スル障礙ニシテ之ヲ除去スルノ必要アルモノミナラス其ノ解決ハ信賴ノ回復ニ貢献スル処大ナリト為スコトニ於テハ諸員間異議ナカリキ（第二節「ノート」第二(イ)参照）

三、國際貸借機構ノ運行ヲ更ニ満足ニシ金準備不足国ニ金獲得ノ可能性ヲ供与スルノ手段ヲ採ルコトハ金本位復帰ノ必要条件ナリトスルコトニハ諸員モ別ニ異議ナカリシカ此ノ点ニ關シ特ニ必要ナルモノトシテ左記諸問題ニ付意見ノ陳述アリタリ（第二節「ノート」第二(ロ)参照）

(ロ)政府間債務ノ問題解決ノ必要

「リスト」氏（仏）及「トリップ」氏（國際決済銀行）並「フイリップス」氏（英）等ハ政府間債務ニ關スル問題ノ未解決ハ財政経済復興ノ具体的手段ノ障碍トナルモノニシテ先ツ除去セサルヘカラストシ殊ニ「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ此ノ点ニ關シ一ノ声明ヲ為スヘシト云ヒ、又「リスト」氏（仏）ハ關係国政府ニ解決ヲ要スル総チノ問題ナリ

題ヲ列挙セル目録表ヲ提出シ主要問題ノ解決サル、迄会議ヲ休会スルコト一案ナリト云ヘリ
而シテ「ウイリアムス」氏（米）ハ私見トシテハ諸員ノ述フル處ニ賛成ナルモ分科会トシテハ本問題ヲ論議スルノ权限ヲ有セストセリ

(ハ)貨物及労務移動ノ自由回復

經濟及通商上ノ方面ヨリ貨物及労務ノ移動ヲ更ニ自由ニスルノ必要アルコトニ付テハ諸員間異議ナカリシモ「トリップ」氏（國際決済銀行）「リスト」氏（仏）及「ウイリアムス」氏（米）等金本位國側委員ハ貨物及労務ノ移動ヲ更ニ自由ニセんカ為ニハ先ツ世界全体ヲ通シテ通貨安定ヲ図ルノ要アリ通貨不安定ハ貿易上ノ障壁ヲ高ムルニ至レル一原因ニシテ為替動搖ヲ除去シ通貨ノ安定ヲ得サル限り通商關係ノ改善及金本位ノ満足ナル運行ヲ望ムヘカラスト為セルニ対シ金本位離脱國側委員就中「フイリップス」氏（英）ハ貨物労務及資本ノ移動ヲ更ニ自由ニシ経済通商狀態ヲ改善スルハ金本位ヘノ復帰ニ缺クヘカラストシ又「フォツケ」氏（独）ノ如キハ金本位復帰ト通商上ノ障壁除去トハ同時並行シテ行ハルヘシトセリ

(ハ)資本移動ノ自由回復就中過重ナル債務殊ニ短期債務ノ問題解決ノ必要

「フォツケ」氏（独）ヨリ同國ノ自由ナル金本位復帰ノ為ニハ短期債務ノ問題ノ解決殊ニ現在ノ据置協定終止ノ必要等ニ付述フル處アリ又伊国委員ハ過去ノ清算ヲ為スノ必要ニ付述フル處アリタルカ本問題ニ付テハ後掲第五資本ノ移動ニ関スル項ニ於テ更ニ記述スヘシ

(イ)短期資金ノ巨額且急激ノ移動ニ依ル危険ノ減少

此ノ点ニ付テハ諸員間別ニ議論ナカリキ

(ホ)金本位復帰国ノ適当平価採用ノ必要

現ニ法律上金本位ヲ維持スルモ為替管理等ニ依リ自由運行ヲ妨ケ居ル國ニ於テハ自由ナル金本位ニ復帰スル為ニハ適

当平価ヲ採用スルノ必要アルヘシトノ意見ヲ述フルモノアリタリ
ノ必要アルヘシトノ意見ヲ述フルモノアリタリ

四、金本位離脱國カ金本位ニ復帰スル為ニハ将来ニ於ケル金本位ノ円満ニ運行セラルコトヲ確保スルノ手段ニ付一般的
諒解ニ到達スルノ必要アルコトニ付テハ本邦委員之ヲ力説シ「フイリップス」氏（英）支持スル等金本位離脱國側ハ特
ニ此ノ点ニ重キヲ置キタルカ本問題ハ後掲第三ノ一ニ於テ詳述スヘシ（第二節「ノート」第二（イ）参照）

五、前記諸点ニ付テハ國際的協力ヲ必要トスルモノナルカ右ノ外各國ハ其ノ自国内ニ於テ左記諸点ニ付適當ナル手段ヲ講
スルノ必要アルコトニ付特ニ議長「トリップ」氏（國際決済銀行）ヨリ力説スル處アリタリ（第二節「ノート」第二
（イ）参照）

(イ) 对内的均衡即单ニ国及地方团体ノ予算ノミナラス鐵道其ノ他ノ公企業ノ豫算ノ均衡

(ロ) 对外的均衡即前記三、記述國際收支ノ均衡

(ハ) 金ノ移動及信用政策ヲシテ其ノ当然ノ効果ヲ有セシム様國內經濟組織ニ彈力性ヲ与フルコト

(二) 国内資本及金融市場ヲ健全ニスルコト

(ホ) 租税其ノ他ノ産業負担ヲ輕減スルコト

六、金本位復帰ト現下ノ卸売其ノ他ノ物価ノ傾向トノ關係ニ付テハ最モ議論アリ金本位離脱國側委員就中「フイリップ
ス」氏（英）ハ物価引上ハ金本位復帰ノ先決条件タリトセルニ対シ金本位國側委員ハ此ノ上金物価ノ引上ヲ好マス物価
引上其ノ他ノ經濟財政上ノ回復ノ為ニハ先ツ各國共金本位ニ復帰スルヲ要スト主張シ又「フォツケ」氏（独）ハ貿易上
ノ障礙撤廃等經濟上ノ回復ト金本位復帰トハ同時ニ並行シテ行ハルヘキモノトナセルカ本問題ハ後掲第三項物価ノ項ニ
詳述スヘシ

七、英國其ノ他其ノ通貨ヲ磅ニ連結スル國ハ貿易關係其ノ他ヨリ見テ影響スル處極メテ大ニシテ其ノ行動ハ一般的通貨制

度ノ進展ニ決定的地位ヲ有スルヲ以テ先ツ是等諸國ノ金本位復帰ヲ必要トスヘシトノ意見ヲ述フルモノアリタリ

八、尚金本位復帰ノ条件ニ關聯シ左記ノ諸点ニ關シテモ触ル、処アリタリ

(イ) 中央銀行ヲシテ政治的勢力ヨリ独立セシムルノ必要ヲ説キタルモノアリタルカ此ノ点ニ付テハ諸員間別ニ議論ナカリ
キ

(ロ) 中央銀行間協力ノ必要ニ付テハ信用供与ハ各債務者ノ状況ニ付正確ナル情報ヲ必要トスルモノナルカ中央銀行間ニ於
ケル協力ヲ緊密トスルニ於テハ此ノ点ニ付大イニ得ル所アルヘシトノ説ヲ為スモノアリ又「フレーザー」氏（國際決
済銀行）其ノ他國際決済銀行重役タル委員ハ同行ノ有スル地位ヲ強調シ且将来ノ金為替本位運行等ノ關係ニ於テ同行
ノ貢献シ得ヘキ处少カラサルコトヲ力説スル処アリタリ

(ハ) 更ニ進テ國際決済銀行重役タル委員ハ同行ト聯盟ノ財政機関トノ協力ニモ言及スル処アリタリ

(イ) 「ストレザ」會議ニ依テ提起サレタル調整資金ノ問題ヲ審議スル為ニ任命サレタル委員会ハ其ノ報告ヲ完了セルヲ以
テ之ニ付聯盟財政部長「ラヴディ」（Loveday）氏ヨリ報告アリ本問題ニ關シ討議スヘシトノ提案アリタルモノ本件ハ地
域のニモ又問題ノ性質上モ特殊ノモノナル處本委員会ノ任務ハ一般的ノモノナルヲ以テ此ノ調整資金ノ問題ノミニ限
定スルコト能ハストシテ之力討議ヲ為サヌ單ニ聽取スルニ止メタリ

(ウ) 金本位復帰ノ關係ニ於テ中央銀行ノ「クレディット」ノ一般的問題ニモ触ル、処アリ「リスト」氏（仏）ハ金本位ニ復
帰セントスル國カ其ノ對内的及對外的均衡ヲ得タル場合ニハ之ニ對シ外部ヨリ「クレディット」等ノ方法ニ依リ援助ヲ
與フル必要アルヘキモ要ハ其ノ對内的及對外的均衡ニ在リトノ意見ヲ述ヘ又「フレーザー」氏（國際決済銀行）ノ如
ク中央銀行間ノ協力ヲ為シ得ル為ニハ先ツ國際的ニ共通ノ本位ニ復帰スルコト必要ナリトスルモノアリタリ

第三、將來ニ於ケル金本位運行上ノ問題

一、本邦委員ハ金本位離脱國カ金本位ニ復帰スル為ニハ将来ニ於ケル金本位ノ円満ナル運行ヲ確保スルノ一般的諒解ニ到

達スルコトノ絶対ニ必要ナルコトヲ力説セルコト前記第二ノ四ニ於テ述ヘタルカ本邦委員ハ此ノ点ニ関シ金委員会最終報告第八一節第三項ヲ引用シ且現在金ノ移動ハ金喪失國ニハ強度ノ影響ヲ及ホスモ金取得國ハ之ヲ死滅シ其ノ金取得ノ當然ノ効果ヲ生セシメサルカ金本位制度ハ金取得國カ金取得ノ当然ノ効果ヲ生セシメサル限り円満ニ運行サル、ヲ得サル旨ヲ強調シ「フイリップス」氏（英）之ヲ支持シ且問題ハ金本位復帰ヨリモ金本位改善ノ問題ニシテ金本位運行ノ不辛ナル経験ニシテ除去サル、ニ非レハ金本位復帰ヲ考慮スル能ハスト為セリ

二、「フレーザー」氏（國際決済銀行）ハ國際決済銀行重役会ハ金委員会最終報告ニ示ス通貨政策ノ一般的主義ニ賛成ナルヲ説明シ會議ハ右報告ヲ討議ノ基礎トスヘシト説ク處アリタルカ尚金本位ノ運行ニ関スル一般的意見ノ外将来ニ於ケル金本位ノ技術上ノ問題タル左記諸点ニ関シ審議スル処アリタリ

(1) 金為替本位（第二節「ノート」第一中将来ニ於ケル金本位ノ運行改善ニ関スル問題(1)参照）

「フレーザー」氏（國際決済銀行）ハ「現在ニ於テハ國ニ依リテハ金本位ニ復帰スルトスルモ金為替本位ニ依ルノ外ナキモノアルヘキ處金為替本位モ差支ナカルヘク會議カ金為替ヲ勧奨シ将来之ヲ採用スルトセハ國際決済銀行ニ金準備ヲ置クコトモ一案ナリ」ト為セルカ之ニ対シ「ウイリアムス」氏（米）ハ「金本位ニ復帰スルトキハ實際上運用サル、モノハ金為替本位ナルヲ以テ之ヲ金本位ト區別シテ勸奨スルハ實益ナキモノ」トシ「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ「金為替本位ニハ缺点アルヘキモ債務國ニハ必要ナル機構ニシテ或ハ國際決済銀行ノ統制ノ下ニ行フ等統制アル運用ヲ為スニ於テハ差支ナカルヘシ」トシ「リスト」氏（仏）及「フイリップス」氏（英）之ヲ支持シ諸員ハ金為替本位ハ敢テ排斥スルニモ及ハストセリ

(2) 金準備率引下及餘裕金準備ノ利用問題（第二節「ノート」第一中将来ニ於ケル金本位ノ運行改善ニ関スル問題(2)及(ハ)参照）

「フレーザー」氏（國際決済銀行）ハ「中央銀行ハ對外支払ノミニナラス対内債務ニ対シテモ金準備ヲ保有スルヲ要ス

ル現状ニ於テハ金準備ト餘裕金準備トヲ區別スルコト困難ナランモ或國々ノ保有スル如キ巨額ノ餘裕金準備ハ國際的ノ目的ノ為ニ使用スヘキモノナリ」トノ意見ヲ述フル処アリ

之ニ対シテ「ウイリアムス」氏（米）ハ「餘裕金準備ハ中央銀行ノ特色ニシテ是アルカ為ニ私銀行ハ其ノ資源ノ限度迄「コンミット」シ得ルモノナルヲ以テ米国トシテハ餘裕金準備ヲ國際的目的ノ為ニ手放スコト危険ナリ理論上国内準備ハ金タルヲ要スルノ理由ナシ然シ實際上最低準備率ハ法律上ノ要件ニシテ此ノ改正極メテ困難ナリ又餘裕^{〔金欠〕}準備使用ニ關シテハ剩餘額ヲ定メ得ルトシ又之ヲ外國ニ投資スル機会アリトスルモ中央銀行カ之ヲ外國ニ投資スルトキハ短期債務ノ移動ヲ更ニ悪化スヘシ又若シ銀行ノ國內的準備力金ノ代リニ「クレディット」ニ依リタリトセンニ金ノ輸入ハ金本位ノ理論ノ豫見サル、効果ヲ有セサルニ至ルヘシ」ト云ヒ本邦委員ハ最近ニ於ケル金ノ米仏其ノ他ニ三ノ國ニ集中スル実情ヲ詳述シタル後「金ノ偏在スルコト現在ノ如クンハ準備率引下ハ必要ノ問題ニシテ理論又ハ便宜ノ問題ニ非ス」トシテ本問題ノ討議ヲ機トシテ金本位復帰カ往年戰後金本位復帰當時ニ比シテ金保有狀態悪化セル國ニトリテ容易ノ業ニアラサルコトニ言及シ金準備率引下ノ方法トシテ英蘭銀行又ハ日本銀行ノ如キ保証準備ノ條項モ参考トスルコトモ一案ナリトシ「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ「現在ニ於テハ金準備ノ維持ハ國內的理由ニ依ルニ非ス其ノ唯一ノ理由ハ對外支払ノ調整ニ在ルヲ以テ此ノ一部ヲ外國ニ対スル援助ニ使用スルコトヲ得ヘシ但シ此ノ援助ヲ受クル國ハ之ヲ對外支払ニノミ使用シ國內信用ノ膨脹ニ使用スヘカラス」トナシ「リスト」氏（仏）ハ準備率ヲ合理的ニ定ムルハ非常ニ困難ニシテ餘リ嚴格ニスルハ不便アルヘク特別ナル場合ニハ彈力性ヲ有セシムル条件ヲ挿入スルコトモ一案ナリ」ト謂ヘリ

第四、銀問題（第二節「ノート」第二末尾参照）

本問題ハ「ウイリアムス」氏（米）ヨリ提出サレ分科会トシテハ時日ノ餘裕ナカリシ為極メテ簡単ニ一応意見ヲ交換セルカ委員ハ何レモ銀ヲ準備ノ一部ニ加フルノ考案ニハ反対ニシテ銀ニ関シテハ銀貨ヲ小額紙幣ノ代リニ使用スルコト及銀壳

出ノ改善ノ二点ニ関スル国際協力ニ付考究スルコト、セリ

第三項 物価ノ変動

物価問題ニ付テハ金本位復帰ノ条件ト関聯シ最モ議論アリタルコト既述ノ通りニシテ（第二項第一、六参照）英國委員カ物価引上ノ必要ヲ高調シタルニ対シ「トリップ」氏（國際決済銀行）「ウイリアムズ」氏（米）及「リスト」氏（仏）等多数之ニ反対シ分科会審議ノ難関ヲ構成セリ而シテ分科会ノ作成シタル「ノート」中ニハ英國側主張ヲ完全ニ表示セラレサリシ憾アリ為ニ英國委員カ最終總会ニ於テ此ノ点ニ言及シ其ノ所見ヲ強調スルノ機會ヲ捉ヘタルコト後掲第五章ニ記述セル処ノ如シ

本問題ニ關シ本分科会ニ於テ英國委員ト他ノ委員トノ間ニ於テ論議セラレタル要点ヲ示セハ左ノ如シ

一、「フイリップス」氏（英）ハ

「通貨問題ニ關スル英國政府ノ方針ハ「オツタワ」決議ニ依リテ明ナリ」トシテ該決議全文ヲ朗読シ

「世界經濟ノ回復ニハ物価水準ノ引上ヲ必要ト為シ金本位復帰ノ如キ物価引上ヲ俟タスシテ之カ実現ヲ図ルハ再ヒ金本位ヲ破壊ニ導クモノナリ一九二五年英國金本位復帰後ニ於テ通貨取縮物価下落ヲ生シ金本位維持ノ困難ヲ生セリ右ノ經驗ハ物価騰貴ノ支持ナクシテハ到底再ヒ金本位ニ復帰スルコト不可能ナルヲ示スモノト謂フヘク英國トシテハ金本位國ノ物価下落ノ継続スル限り金本位ニ復帰スルコト能ハス物価引上ノ最モ緊要ナルハ農產物原料品ナリ此等貨物價格引上ニ依リテ其ノ債務負担ヲ輕減シ得ヘク農業國及原料品生產國ノ景氣回復ハ工業國ノ經濟復興ヲ招来スヘク世界金融通貨ノ安定モ此ノ経路ヲ辿ルニ非レハ到底之ヲ確保シ得サルヘシ」ト論シ之ニ対シ

二、「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ

「金本位復帰ノ条件トシテハ物価引上ヲ策スルヨリモ寧口對内的均衡即チ予算ノ均衡ヲ図リ尚對外的均衡即為替ノ均衡ヲ保ツヲ緊要トシ為替ノ均衡ハ生産費ヲ國內物価水準ニ調整スルコト及國際的協力ニ依リ世界貿易ヲ復興スルコトニ依

リ達成シ得ヘシ金本位ノ復帰ハ貿易ノ自由ヲ確保スル所以ニシテ英國ノ如キ國家カ金本位離脱タルトキハ金本位國八通貨不安定ノ為其ノ通商ヲ阻害セラレサルヲ得ス」ト述ヘ

三、「フイリップス」氏（英）ハ之ヲ反駁シテ

「生産費ヲ物価ニ調整低下スルノ方策ハ結局通貨收縮ノ方策ニ陥ルノ外ナカルヘシ現下不況ノ原因カ通貨收縮ニ存スルニ拘ラス更ニ通貨ヲ收縮スルニ於テハ原料生産國及債務國ハ全ク破産スルノ外ナキヲ以テ此ノ方策ヲ採ルヲ得ス寧口物価ソノモノノ引上ヲ適當ノ方策ト思考ス」ト為シ尚「之力為ニハ低金利政策ノ支持統行、金本位國ノ信用拡張ヲ必要トシ且經濟方面ニ於テハ貨物及労務移動ノ自由回復ヲ緊要トシ會議ハ其ノ目標ヲ此ノ両者ニ置クヘク此ノ目標ニ到達セサレハ世界ハ經濟財政會議ノ成果ニ失望スヘシ」ト論セリ之ニ対シ

四、金本位國多數委員ハ

「オツタワ」決議ニ依ルモ豫算均衡維持ノ必要ヲ強調セルニ鑑ミ Inflationヲ排斥セルモノト見ルノ外ナシハ物価引上ヲ實行スルトセハ信用政策ニ俟ツノ外ナキ処現時非常ノ低金利ニシテ資金豊富ナルモ信賴缺如セル為資金需要起ラス信用政策ノ按配ニ依リ物価引上實行不可能ナリ」ト駁シ特ニ

五、「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ

自國和蘭ノ實例ヲ引用シ「金利ハ非常ニ安ク兌換券發行ハ実需ヲ超過スルコト巨額ナルモ經濟狀態改善ノ跡ナク購売力增加セス」ト述ヘ

六、「リスト」氏（仏）ハ

「仏國ニ於テハ金利ハ非常ニ安キモ預金ハ依然増加シ金ハ流出セス」ト云ヒ

七、「ウイリアムズ」氏（米）ハ

米國ノ實例ヲ引用シ「銀行ノ貸出政策緩和ハ聯邦準備銀行ニ付スル債務ノ償還延テハ準備ノ増加ヲ招來セルモ貸付ハ信

賴缺如セル限り増加セス政府又ハ中央銀行ノ手段ニ依リ直接一定ノ物価水準ヲ強制シ得ヘキモノニ非ス通貨上ノ手段例へハ自由ナル信用政策ニ依リ又ハ経済上ノ手段例へハ金ノ移動等ニ依リテモ間接ニ物価ニ影響スルニ過キス」ト為シ
多数意見ハ物価引上ハ実行可能ナラハ結構ノコトナルモ直接有効ノ対策ナシ故ニ各国ノ物価水準調整ニ依ルノ外ナク徒ラニ人為的手段ニ依リ物価引上ヲ企図スルハ却テ經濟上ノ整理実行ヲ阻害スルモノナリト為セリ

八、「フイリップス」氏（英）ハ右諸説ニ対シ自説ヲ固持シテ讓ラス

「物価ハ貨物ノ種類ニ依リテ低落ノ程度ニ差異アリ即チ原材料及食料品ト製造品トノ間ニ又投資貨物ト消費貨物トノ間ニ其ノ差異顯著ニシテ原료品食料品価格ノ低落顯著ナルニ鑑ミ之力価格回復ヲ圖ルコトハ必シモ不合理ヲ求ムルモノニ非ス又卸売物価ノ低落ハ小売物価ノ下落ヨリモ顯著ナリ從テ前者ヲ引上ケ後者トノ開キヲ少カラシムルノ餘地アリ之力具体的方策ハ金融方面及ヒ經濟方面両者ニ存ス現下ノ不況ハ英國金本位離脱前即一九二九年ヨリ生セルモノニシテ金本位復帰ニ依リ直ニ世界經濟回復ヲ期待スルヲ得ス」ト述ヘ英國政府ノ本問題ニ対スル方針ノ那邊ニ存スルヤヲ明ニシタリ

リ

九、然レトモ結局多数意見ハ此ノ主張ヲ採用スルニ至ラス或ハ經濟分科会ト聯合会合ヲ催シ論議ヲ盡スヲ可トスヘシトノ説アリ或ハ物価問題ハ特別問題トシテ小委員会ヲ設ケ研究スヘシトノ説アリタルモ結局本問題論議ヲ此ノ程度ニ止メ準備委員会最終総会ノ開会セラレタル場合両分科会共通ノ問題トシテ論議スルノ餘地ヲ残シ本分科会ハ大体多数意見ヲ主トシテ表示セル「ノート」ヲ作成スルニ至レリ

第四項 為替制限

一、本問題ニ関シテハ先ツ聯盟財政部長「ラヴデイ」氏ヨリ既ニ配付シタル各國為替制限ニ閲スル参考資料（附屬書第八号）ノ補充的説明、就中中欧諸国ノ為替制限ニ付詳細ノ説明アリ

尚同氏ハ為替管理ノ目的ハ資本逃避ヲ防止スルコト外債ノ支払ヲ其ノ国ノ取得シ得ヘキ為替ノ限度ニ止ムルコト及輸入

二、為替管理撤廃ノ為ニハ或國々ノ要スル条件トシテ左記ノ如キモノヲ擧ケルモノアリタリ
(イ)短期債務ノ急激ナル引上ヲ防止スル対策ヲ講シ又或場合ニハ現存据置協定ヲ改訂スルノ必要アルコト及長期債務モ其ノ負担力現在ノ物価ニ比シ重キニ過クルトキハ改訂ノ必要アルコト
(ロ)貨物及労務ノ移動ノ自由ヲ回復スルコト

右二点ニ関シ「フオツケ」氏（独）ハ獨乙ノ為替管理ハ其ノ短期資金巨額ナルニ鑑ミ麻克相場維持ノ為行ヒ居ルモノニ

シテ此ノ短期債務ノ確定的解決ヲ為シ漸次支払フノ途ヲ拓キ且總テノ國カ金本位ニ復帰スルコトハ為替管理撤廃ノ必要条件ナリトシ現在ノ据置協定ハ短期債務問題ノ一部分ヲ處理スルニ過キス他ノモノハ為替管理ニ依リ處理セラル、有様ナルヲ以テ更ニ広キ見地ヨリ之カ解決ヲ圖ルノ要アリ此ノ点ニ付各種ノ短期債務ヲ機械的ニ一樣ニ取扱フコトナク各種ノ債務ヲ区別シテ其ノ各ニ適當ナル対策ヲ講スルノ要アルコト及巨額ノ「トランクファーム」ハ貨物及労務ノ移動自由ヲ回復スルニ非レハ實行不可能ナルコトヲ考慮セサルヘカラスト為シ尚同氏ハ短期債務ノ協定改訂ノ如キ問題ハ其ノ詳細ハ当事者間ニ於テ處理スヘキモノニ属シ準備委員会等ニ於テ之ニ立入り論議スルハ避ケラレ度ト述ヘタリ又「リスト」氏（仮）ハ短期債務ノ解決ハ各個ノ私的協定ニ依リ行フヘキモノニシテ第三者ハ当事者ヨリ依頼アルニ非レハ干涉スルコト困難ナルカ速ニ解決ヲ要スル旨ノ声明ヲ為シ又外國ヨリノ借入ニ代フルニ国内資本ノ蓄積ヲ獎勵スヘシト為セリ

ハ輸出ニ依リ得タル外國為替ヲ他国ニblockスルノ制度ヲ廢止スルコト此ノ点ハ「ラヴデイ」氏ヨリ中欧諸国ノ為替管理ニ付特ニ指摘セル処ナリ

三、金本位離脱国側委員ハ国際的ニ共通ノ金本位ニ復帰スル為ニハ物価ノ引上貨物及労務移動ノ自由回復等ヲ得ルコト困難ナリトセル既述ノ如クナルカ為替管理撤廃問題ノ討議ニ際シテモ此ノ点ニ労務ノ移動ノ自由回復等ヲ得ルコト既述ノ如クナルカ為替管理撤廃問題ノ討議ニ際シテモ此ノ点ニ論及シ一国通貨ノ動搖ハ其ノ国ノ商品ノ他国市場ヘノ流入、廉売等ヲ招来シ他国ノ国際貸借ニ甚シキ影響ヲ及ホスヲ以テ先ツ通貨安定ヲ図ラサルヘカラストノ意見ヲ述フルモノアリタリ

四、長期債務ノ解消ニ関シテハ債権國債務國間ノ直接交渉ニ依リ解決スルコト適當ナルモ直接交渉ニ依リ協定ニ到達セサル場合ニハ仲裁ニ依リ打開スルノ方法モアルヘク之カ為ニハ債権者及債務者ノ仲裁ヲ依頼シ得ル様有能ニシテ且權威アル人々ヲ選定シ仲裁機関ヲ設クヘシトノ意見ヲ述フルモノアリタリ蓋シ政府当局又ハ中央銀行等ニ於テ此ノ種ノ調停ヲ直接担当スルコトハ適當ニアラサルヲ以テナリ尚英國委員ハ長期債務ノ處理ハ單ニ一時的ノモノタルヲ要シ永久ノ減額等ニ反対ナル旨ヲ述ヘタリ

五、為替制限ニ關シ本邦委員ハ貿易制限ヲ目的トセル為替取引制限ノ廢止ハ經濟回復ノ為頗ル望マシキ処ニシテ諸國之力實行ニ努力スヘキナリ唯本邦政府ノ七月以降実施セル處ノ資本逃避防止法ノ如キハ何等貿易資金ノ為替取引ニ干与スルモノニ非ス單ニ資本移動ヲ取締ルモノニシテ本邦政府カスノ如キ制限ヲ為シタル所以ハ歐米証券市場ノ悪化ニ依リ内外債ノ相場利廻ニ多大ノ開キヲ生シ本邦投資者ノ外貨債買入ノ激増シ巨額資金ノ流出ヲ見タル等目下世界金融、証券界ノ變態的事情ニ基クモノナリ從テ此ノ事情改メラレサル限り之カ撤廃ハ絶対ニ困難ナリト述ヘタリ

分科会ハ右ノ趣旨ニ順応シ其ノ「ノート」中為替制限ハ貿易ノ自由ヲ阻害スル点ニ於テ殊ニ不適當ナルヲ以テ仮ニ資本ノ移動ノ点ヨリ見テ為替制限ヲ存置スル必要アリトスルモ尚又為替制限ヲ撤廃乃至緩和スル為ニ現存平価ヲ放棄スルノ必要アリトスルモ少クトモ貿易上ノ必要ニ応スル為替ノ制限ハ之ヲ緩和スルコト最モ望マシトノ意味ヲ掲記セリ

六、尚「リスト」氏（仏）ハ「塊國其ノ他ニ於テ試ミタル漸次管理ヲ撤廃スルノ企ハ新平価採用トナルコトアルヘク為替

カラス」トセリ

第五項 資本ノ移動

一、「ムジー」氏（瑞）「トリップ」氏（國際決済銀行）及「フイリップス」氏（英）ハ「現在ノ如ク資金ノ移動停滞セルハ投資家カ過去ノ投資ニ於テ多大ノ損失ヲ蒙リタルカ為ナリ」トナシ又「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ「其ノ損失ハ一部份ハ價格低落ニ依リ又一部分ハ過失ニ因ルモノニシテ殊ニ經濟的及財政的ニ堅実ナリヤ否ヤヲ確ムルコトナクシテ貸付ケタルコト、債権者カ其ノ支払ニ貨物又ハ労務ヲ受入レサルコト、長期「クレディット」ヲ必要トスル場合ニ短期貸ノ「クレディット」ヲ与ヘタルコト及長期「クレディット」カ短期「クレディット」ノ基礎ニ於テ与ヘラレタルコト等ニ因ルモノナリ」ト為セリ而シテ資金移動再開ノ条件トシテハ「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ「政治問題及戰債問題解決シ企業ニ依ル利益増加ノ見込立チ信賴回復スルヲ要ス」トシ尚「ムジー」氏（瑞）及「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ資金移動ノ為証券印紙税等ノ租税負担輕減ノ要アルコトニ言及セリ

二、将来ノ資金移動ニ關シテハ「リスト」氏（仏）ハ「何国モ對外貸付ニ付一定ノ政策ヲ定ムルコト能ハス貸付ハ全ク各場合ノ債権者及債務者ノ地位ニ依ルモノニシテ一方貸付得ヘキ資金アルヤ否ヤ他方政治上及經濟上ノ保障アルヤ否ヤニ懸ルモノナリ」トシ

「フイリップス」氏（英）ハ「近キ将来ニ於テ英國ノ外國ニ對スル貸付ハ極メテ小額タルヘキコトハ想像ニ難カラス是英國ノ國際收支ハ改善シツ、アリト雖モ受取勘定ハ未タ充分ナラサルコト、英國ノ政策ハ其ノ金及為替準備ヲ增加スル

ニ在ルコト及英国内及英領各地ノ資金需要多キコトニ因ルモノナリト述ヘタリ

「ウイリアムス」氏（米）ハ「米国ハ戰前ニ於ケル英國カ債権國（Creditor Country）ナリシカ如キ意義ニ於テハ債権國ニアラス貿易上ハ出超ナルモ貿易外ニ於テ多額ノ支払アリ若歐洲諸國カ米国証券ニ投資セサリシトキハ國際取支ハ遙ニ支払超過ナリシナラン而シテ米國ハ戰爭ノ結果債權國トナリタルモ其ノ資本輸出多キニ過キタルハ全ク誤ニシテ将来ノ資本輸出ニハ限度アリ」ト云ヒ尚金ノ偏在ニ付テハ「ウイリアムス」氏（米）及「リスト」氏（仏）ハ政策ノ結果ニアラスシテ事態ノ自然ノ結果ナリト云ヒ「トリップ」氏（國際決済銀行）ハ金本位復帰シ資金移動再ヒ開始スルニ於テハ金ノ再分配促進サルヘシト述ヘタリ

三、尚討議ニ当リ過去ノ経験ヨリ資本移動及債務者ノ状態ニ閲スル情報ノ不足ハ投資家ヲ誤リ各方面ヨリ債務者ノ負担シ得サル巨額ノ貸付ヲ為スコト、ナルヲ以テ資本移動就中短期資金移動ニ閲スル情報ヲ金融当局ニ与フルノ必要及目論見書其ノ他ノ發表ニ依リ市場ニ情報ヲ供与スルノ必要ヲ説クモノアリタリ其ノ方法トシテ國際的ニ又ハ國家ノ手ニ於テ或ハ中央銀行ノ手ニ依リ Public Credit ヲ求ムルモノノ状況ヲ調査スルハ不可能ナルモ政府ニ依リ認メラレタル独立ノ機関ヲシテ調査セシムルモ一方法ナリトノ説ヲ為スモノモアリ私銀行ト中央銀行トノ関係ヲ緊密ニスルモ亦一方法ナリトナスモノアリタリ（後掲第二節「ノート」第四参照）

第六項 公共事業

國際的公共事業ヲ起シ失業ヲ救済シ信頼ヲ回復スヘシトノ労働事務局代表側ノ提案ハ經濟分科会ヨリ廻付サレ更ニ「ハンス エルステット」氏及「ジユーオ」氏（労働事務局）ヨリ口頭ニテ説明アリタルカ本件ハ財政經濟両分科会委員中ヨリ委員ヲ選ヒ労働事務局代表者及國際交通委員会代表者ト共ニ次期会合迄ニ審議スルコト、ナレリ（後掲第二節「ノート」第五参照）

第七項 一般

一、分科会ノ討議ヲ通シ財政的回復ト經濟的回復ハ相互ニ密接ノ関係アリ經濟的回復ヲ離シテ財政的回復ヲ期シ難ク又財政的回復ヲ無視シテ經濟的回復ヲ企図シ得サルコトハ特ニ力説セラレ又貨物移動ノ自由ヲ回復セシムルコトノ必要ヲ強調セルモノアルコト前記各項ノ説明ニ依リ自ラ明ニシテ将来ノ対策ハ經濟財政両分野ニ及フモノタルヲ要スルコトハ各委員ノ等シク認メタル処ナリ

又其ノ対策ノ成功スルカ為ニハ委員会ノ權限外ニ属スル現下懸案ノ或種政治的問題例へハ戰債問題ノ如キモノヲ先ツ解決スルコト必要ナリトスルコトニ於テモ諸員等シク一致セリ

二、分科会ハ前記第六項公共事業ノ項下ニ説明セル調査ニ閲聯シ労働事務局トノ打合セ其ノ他休会中必要ナル事項ノ処理ヲ準備委員会議長ニ委ヌルコト、セリ（後掲第二節「ノート」第六参照）

第二節 財政分科会ノ事業ニ閲スル「ノート」

「ノート」ハ既述ノ通り今次会合ニ於テ表明サレタル主要意見ヲ摘要列挙セルモノナルカ

第一ニ於テハ今次会合ニ於ケル審議ノ一般方針ヲ示シ

第二ニ於テハ通貨及信用政策ニ閲シ共通ノ國際本位トシテ金本位ヲ勧奨スルト共ニ自由運行金本位ヘノ一般的復帰ヲ可能ナラシムヘキ条件トシテ各委員ノ表明セル意見ヲ摘要シ更ニ討議ニ際シ論及セラレタル諸点ヲ列挙シ次テ将来ニ於ケル金本位ノ運行改善ニ閲スル問題ニ閲シ論セラレタル金為替本位、最低法定準備率及金ノ分布等ノ問題ヲ挙ケ又銀問題ヲ掲ケタリ

而シテ

第三ニ於テハ物価問題、

第四ニ於テハ為替制限及資本移動、

第五ニ於テハ、公共事業ニ関スル意見ヲ摘出列挙シ

第六ニ於テハ、一般トシテ財政回復及経済回復ノ緊密關係等ニ付述フル処アリ

以下「ノート」全文ヲ訳出掲載スヘシ（仮訳）

第一、討議ハ經濟財政會議ニ於テ處理セラルヘキ主要問題ヲ闡明スルタメノ探求的性質ノモノナリキ委員ハ斯ノ段階ニ於テハ其ノ討議ヲ意見ノ豫備的交換ニ止ムルヲ寧ロ採ルヘキ處ト思考セリ分科会ハ「ローザンヌ」會議報告書ニ指示サレタル諸種問題ヲ考究シタリ即チ

(イ) 通貨及信用政策

(ロ) 物価水準

(ハ) 為替上ノ困難

(二) 資本ノ移動

第二、通貨及信用政策

分科会ハ共通ノ國際本位ヘノ復帰ヲ可能ナラシムヘキ条件ニ其ノ主要注意ヲ傾倒シタリ而シテ分科会ハ世界的ニ容認シ得ヘキ本位トシテハ金ヲ基礎トスルモノノ外之ヲ見ルコト能ハサリキ金委員会報告ノ指摘スルカ如ク時期、水準及若決定ノ要アリトセハ金本位ノ態様ハ關係國ノ適當有權機關（Proper authority）ニ依テノミ決定サレ得ヘキモノナリ此ノ決定ハ必然的ニ各自國及外國ニ於ケル經濟狀態ニ懸ルヘシ

討議ニ際シ自由運行金本位ヘ一般的ニ速ニ復帰スルコトヲ可能ナラシムル為或種須要条件ノ満足セラレサルヘカラサルコト指摘セラレタリ

(イ) ヨリ大ナル信頼ノ回復、而シテ之ニ対シテハ現下懸案タル或種政治的問題ノ解決ハ大イニ貢献スル處アルヘシ

(ロ) 國際收支ノ機構ノヨリ満足ナル運行ヲ可能ナラシメ從テ現ニ準備不足ナル國ニ対シヨリ満足ナル準備上ノ地位ヲ獲得

シ得ヘキ可能性ヲ与フル手段、特ニ

(一) 政府間債務問題ノ満足ナル解決ノ必要但是等問題ハ本分科会ノ權限外ニ在ルモノト認メラレタリ

(二) 貨物及労務ノ移動自由ノ相当程度回復

(三) 資本移動ノ自由ノ相當程度回復、右ハ特ニ債務就中短期債務過重ニ關スル諸問題ノ解決ヲ前提トス（過去ノ精算）

(四) 現在短期資金ノ巨額ナルコト及右ノ急激ナル移動ニ依リ招来セラル、危險ノ輕減

(五) 金本位復帰國ノ適當平価採用

(ハ) 将來ニ於テ金本位ノヨリ良キ運行ヲ確保スルタメ採ルヘキ手段ニ關スル一般的諒解（後記参照）

(二) 以上比較的國際的性質ノ手段ニ加フルニ各國ハ個々ニ左記諸点ニ關シ必要ナル措置ヲ採ルヘシ

(一) 固有ノ國ノ豫算ノミナラス公企業（鐵道等）及地方團体ノ歳入歳出ハ均衡セラレサルヘカラス

(二) 尚金ノ移動及信用政策ヲシテ必要ナル効果ヲ生スルヲ得セシメ且經濟組織ニ充分ナル彈力性ヲ與フルコト必要ナリ

(三) 最後ニ各國ノ国内金融並資本市場ニ健全ナル狀態ヲ設定且維持スルコト必要ナルヘシ

分科会ハ又卸売其ノ他物価ノ現在ノ傾向カ如何カル限度ニ於テ金本位復帰ニ影響スルノ役割ヲ演スヘキヤヲ検討セリ此ノ題目ハ後記第三ニ於テ更ニ詳細ニ記述セリ

或國ハ其ノ行動カ一般的通貨發展ニ決定的影響ヲ及ホスノ故ヲ以テ枢要的地位ニ在ルコト指摘セラレタリ
討議中左記特殊ノ問題ニ言及スル所アリタリ

(イ) 政治的勢力ヨリ中央銀行ノ独立

(ハ) 國際決済銀行ト國際聯盟財政機關トノ間ノ協力
〔ストレザ〕會議ニ依リ提起サレタル調整基金（Normalization Fund）問題審議ノ為任命サレタル委員会ノ報告ハ本分科

会二通報セラレタリ分科会ハ又金本位復帰トノ関係ニ於テ中央銀行信用(季節的信用、「レヴォルヴァイング」信用、緊急信用)ノ一般問題及是等信用ヨリ期待シ得ヘキ限ラレタル効果並信用ノ許与セラル、ニ先チ満足サルヘキ条件ニ付討議セリ将来ニ於ケル金本位ノ運行改善ニ関スル問題

金委員会最終報告ハ討議ノ基礎トサルヘシトノ提議アリ又國際決済銀行理事会カ右報告ニ示サレタル通貨政策ノ一般方針ヲ大体ニ於テ是認シタルノ事実ニ触ル、処アリタリ

(イ)金為替本位、或國ハ此ノ本位ノ採用ヲ継続スルモノト認メラレ且多数国ノ中央銀行ハ金為替本位ノ正式採用ナキ場合ニ於テモ其ノ金準備ヲ外国為替ヲ以テ補充スルコト有利ナルヘシトノ意見開陳セラレタリ近年ノ経験ニ徴シ金為替本位ノ運行ニハ或種改革ヲ必要トルコト強調セラレタリ特ニ外國為替準備ヲ直接ニ又ハ國際決済銀行ヲ通シ中央銀行ニ集中スルノ必要ニ付言及セリ

(ロ)最低法定準備率 討議中他ノ考慮トハ別ニ實際的見地ヨリ多数国ヲシテヨリ速ニ金本位復帰ヲ可能ナラシムル為法定準備率ヲヨリ低度ニ定ムルコト有用ナルヘシトノ意見開陳セラレタリ此ノ点ニ関シ分科会ハヨリ彈力性アル準備規定即保有ノ金ヲ海外支払準備トシテヨリ容易ニ利用スルヲ得セシムヘキ規定ヲ支持スル議論ヲ検討セリ又本位制カヨリ制限的ナラサルニ至ルトキノ通貨膨脹的傾向ノ危険ヲ審議セリ

(ハ)分科会ハ又金準備ノ現下ノ異常ナル分布ノ問題及是等準備ヲ世界ノ信用機構強化ニ使用スルノ問題ヲ討議セリ

銀、銀問題討議モ討議ニ附セラレ本件ハ委員会次期会合ニ於テ更ニ考慮スルコトニ一致セリ

第三、物価ノ変動

分科会ハ通貨上ノ行為カ現下ノ状態ニ於テ一般的物価水準ニ影響ヲ及ホスコトアリ得ヘキヤ(又ハ如何ナル限度ニ於テ)ヲ考慮セリ分科会ハ世界卸売物価ノ昂騰ニシテ若シ生シタランニハ金本位復帰ヲ容易ナラシムヘキコトヲ認メタリ中央銀行ノ单独ニ実現シ得ヘキモノ以外ノ因子ノ影響特ニ指摘セラレタリ

第四、為替制限、
分科会ハ左記目的ヲ以テ外國為替管理制度ヲ設定セル國ニ於ケル該制度ノ一般情勢、物価及為替相場等ニ及ホス影響ニ付檢討スル処アリタリ

(イ)資本逃避ヲ防止スルコト
(ロ)外債償還ヲ手持為替資源ノ限度ニ止ムルコト

(ハ)輸入制限ニ依リ貿易尻ノ改善ヲ図ルコト
或種場合ニ於テ内國物価ト外國物価トノ間ニ於ケル不均衡ヲ招來スルノ危険及管理撤廃ノ望マシキコト強調セラレタリ討議中右撤廃ヲ可能ナラシムル為或國ニ対シテ満サルヘキ条件ハ左ノ如キモノナルヘキコト指摘セラレタリ

(イ)外國短期信用ノ急激引揚ニ対処スル手段及或種場合ニ於ケル現在ノ据置協定ノ改正、又或種場合ニ於テ長期債務モ現在ノ物価ニ徴シ其ノ負担過重ナルコト明瞭ナルトキハ之ニ関スル取極

(ロ)輸出市場ノ活動ヲ刺戟シ且商業上ノ信用所作ノ実現ニ健全ナル経済的基礎ヲ与フルタメ貨物移動ノヨリ大ナル自由
(ハ)輸出ニ依リ取得スル外國為替ヲ外國ニBlockスル制度ノ廃止
通貨ノ動搖ハ他國ノ國際収支ニ重大ナル影響ヲ及ホスコト必然ナルニ鑑ミ少クトモ事實上ノ相對的通貨安定ヲ図ラサルヘカラストノ意見表明セラレタリ

新ナル短期債務協定ニ到達シ依テ善惡両債務者ヲ同一基礎ニ置カシメ善キ債務者ノ信用状態ヲ毀損スルノ傾アル現在据置

協定制度ニ代ラシムル交渉ヲ開始スルコトノ必要強調セラレタリ

過重長期債務ノ処理ニ関シテハ最モ望マシキ方法タル債権者及債務者間直接交渉ニ依リ協定成立セサル場合其ノ仲裁者トシテ招請セラルヘキ権威及資格アル者ノ人名表ヲ作成スヘキコト提案セラレタリ

分科会ハ為替制限ハ資本移動ニ関シ之ヲ維持スル必要アリトスルモノ又或場合ニハ現行平価ヲ拠棄スル必要アリトスルモノ先ツ貿易上ノ需要ヲ満足セシムル為ニハ之カ緩和ノ望マシキコトニ関シ注意シタリ

資本移動、
前記第四ニ於テ取扱ヒタル問題ノ外分科会ハ資本移動沈滯ノ問題及外貨付ニ於ケル投資者ノ信頼回復ノ困難ニ関シ一般的討議ヲ為セリ

債権者ハ債務者ヲシテ其ノ債務支払ヲ貨物又ハ労務ニ依リ可能ナラシムルコト必要ナル点及資本輸出ヲシテ金ノ移動ニ自然の効果アラシムルコトノ重要性強調セラレタリ此ノ点ニ關シ資本移動ノ金ノ分布問題ニ及ホス影響ニ触ル、処アリタリ討議中或種技術的問題提起セラレタリ

(イ)通貨政策ノ當局者ニ資本移動殊ニ短期資本移動ニ關シヨリ完全ナル情報ヲ与フルコトノ必要
(ロ)公債目論見書等ノ発表ニ依リ市場ニ完全ナル情報ヲ与フルコトノ可能性

第五、公共事業、

分科会ハ本問題ハ次期会合前ニ分科会委員中或者ヲシテ本問題ヲ變理シ居ル國際労働機関及交通部ノ技術委員会ノ代表者ト協調審査セシムルコトニ決定セリ

第六、一般、

討議ニ際シ財政回復及経済回復過程ノ間ニ存スル緊密關係及貨物ノ移動ノヨリ大ナル自由ノ必要力説セラレタリ経済界ノ一般的改善ニ関スル如何ナル考案モ同時且相関不離的ニ経済及財政ノ両分野ニ亘ルモノタルヲ要スルコト感セラレタリ

然レトモ右ノ考案ノ成功ハ本委員会ノ權限外タル或種政治的問題ノ先ツ解決セラル、コトニ依拠スヘシ
分科会ハ準備委員会ノ議長ニ調査必要ナルヘキ問題特ニ前記第五ノ問題ノ講究ニ關シ必要ナル措置ヲ採ランコトヲ依嘱セリ

第四章 経済分科会

第一節 経過大要

第一項 議事経過議事項目並手続

一、經濟分科会ハ十月三十一日午後四時二十分其ノ第一回会合ヲ開キ劈頭「サー フレデリック」氏（英）ノ提案ニ基キ「ランゲンホーヴ」氏（白）ヲ委員長ニ選任シタル後直ニ議事ニ入り其ノ後

十一月一日	午前	（第一回）
同日	午後	（第二回）
二日	午前	（第四回）
同日	午後	（第五回）
三日	午前	（第六回）
同日	午後	（第七回）
四日	午前	（第八回）
同日	午後	（第九回）
五日	午前	（第十回）

同日	午後	(第十一回)
七日	午前	(第十二回)
八日	午前	(第十三回)
同日		午後
(第十四回)		

ト前後十四回ノ会合ヲ重ね後掲第二節ノ経済分科会ノ事業ニ関スル「ノート」ヲ作成セリ

二、先ツ第一回会合ニ於テハ分科会ノ議事ノ範囲並ニ討議方法ニ関シ意見ヲ交換シタル後委員長ハ議事ノ順序トシテ

(一)通商障碍問題（「クオータ」制度、輸入免許、為替管理ニ依ル間接的制限）

(二)一般関税問題

(三)通商条約問題（最惠国約款問題）

(四)産業協定

ヲ列挙シ次テ本邦委員ヨリ委員長ハ上記ノ諸問題ニ関シ各個ノ問題ヲ孤立セシムルコトナク質問書ヲ作成シテ討議進行ニ役立タシムルコトヲ提議シタル処本分科会ニ依リテ採用サレ各國代表ハ委員長ノ質問書ニ対シ一々自國ノ立場ヲ表明スルノ形式ヲ以テ議事ヲ進ムルコト、ナリタリ

次テ第二回及第三回会合ニ於テハ通商障碍問題第四回及第五回会合ニ於テハ経済財政ノ相関々係第六回会合ニ於テハ公共事業第七回会合ニ於テハ更ニ公共事業「ボイコット」問題及関税率政策第八回第九回及第十回会合ニ於テハ関税率政策及関税条約問題第十一回会合ニ於テハ引続キ関税率問題、産業協定、間接的産業保護問題及其ノ他ノ問題ニ付意見ヲ交換シ一応審議ヲ終リタルカ經濟分科会モ各委員ノ間ニ意見ノ相異スル点多ク直ニ一致ノ具体案ニ到達スルコト能ハサルヲ以テ開陳セラレタル意見ヲ摘出列挙セル「ノート」ヲ作成スルコト、ナリ七日午後ノ総会ノ後更ニ第十二回乃至第十四回ノ会合ニ於テ字句修正等ニ付議シ結局後掲第二節ノ「ノート」ヲ得ルニ至レリ

次項以下各問題ニ關シ各委員ノ述ヘタル意見ニ付稍詳細ニ説明シタル後「ノート」ノ訳文ヲ掲クヘシ

第二項 通商障碍問題

一、委員長質問書

本問題ニ關シテハ大要左ノ如キ委員長ノ質問書發セラレ之ニ基キテ各國委員説明並答弁ヲ為セリ

- (イ)輸入制限創設ノ時期並ニ理由
- (ロ)輸入制限範囲拡張ノ準則並ニ理由
- (ハ)制限適用上ノ困難並ニ之ニ基ク政策変更ノ有無
- (二)制限撤廃ヲ考慮スル意思政府ニアリヤ否ヤ並ニ其ノ意思アリトセハ其ノ時期、範囲並ニ条件

二、各國委員ノ表記セル意見要旨左ノ如シ（後掲第一節「ノート」第一参照）

(イ)「デイ」氏（米）

米国ハ現在質問書ニ掲ケラレタル如キ輸入制限方法ヲ採用シ居ラサルヲ以テ本件ニ關シテハ一般論ヲ為スノ外ナシ米国ハスル方策ヲ採ラサルヲ得サリシ諸國ノ立場ハ之ヲ諒解スルモ一定ノ限界ヲ設ケテ之ヲ超ヘサルコトヲ切望ス経済財政會議トシテハ現在ノ変則的通商關係ヲ平常狀態ニ復スル方法ヲ考慮シ且之カ實行方法ヲ研究スルコト、シ度シ

(ロ)河合（日）

日本ハ貿易逆調ニモ拘ラス何等輸入制限等ヲ課セス本年七月一日施行ノ資本逃避防止法モ其ノ目的ハ金融方面ニ存ン何等通商ノ制限トシテ行ヒタルモノニ非ス日本カ輸入制限ヲ行ヒタル唯一ノ例ハ昭和三年十二月ヨリ開始セル硫安輸入特許制限ノミナルカ右ハ同年硫安生産國ノ大多数カ同種ノ制限ヲ採用セルニ依リ已ムヲ得シテ行ヒタルモノニ過キス

(ハ)「タシナリ」氏（伊）

伊国ノ輸入制限ハ総テ他國カ同様ノ制限ヲ為セルニ対スル防禦的ノモノナリ伊國政府ハ常ニ輸入制限ニ反対ニシテ嘗テ國際聯盟ニ対シテモ輸出入制限撤廃條約ヲ提議セル程ナリ但シ本條約ハ數ヶ國ノ批准ヲ得シテ未タ実施ニ至ラス

(二) 「ボッセ」氏（独）

独逸ノ輸出入禁止又ハ制限方法モ日本ノ如ク資本ノ逃避ヲ防止シ以テ「ライヒスバンク」ノ金準備ヲ保全スルノ目的ニ出テタリ而シテ之カ実施上他國ニ迷惑ヲ及ホシタル場合独乙ハ之カ除去ノ為極メテ妥協的ナル考慮ヲ加ヘタリ尚為替管理ノ実施ハ外國債権者等ノ切望ニ基クコトモ注意サレ度シ獨乙ノ制限策ハ一般的ニ行ハス特殊ノ貨物ニミ適用アリ殊ニ一九二五年以後ハ石炭、鉄、窒素、「ファイルム」、白鉛等ノ數種貨物ニ之ヲ課シタルノミ而シテ農産物「クオータ」制度ノ採用ハ失業救済、國際貸借、国内農産物ノ生産過剩、農業經營者ノ莫大ナル負債等ノタメ已ムヲ得サリシ結果ナリ独乙ハ國際的協力ヲ為スニ客ナラサルモ之カ協定ハ關稅ノ低下ニ依リ独乙ノ過剩生産物ノ輸出ヲ可能ナラシムモノナルコトヲ希望ス何トナレハ之ニ依リテノミ獨乙市場ノ購買力増加サレ外國農産物ヲ輸入スルコトヲ得ルヲ以テナリ

(三) 「サー フレデリック」氏（英）

英國政府ハ貿易制限ニ反対ニシテ産業保護ノ目的ヨリ制限ヲ為セルハ一九二一年ノ染料輸入特許制度アルノミナリ英國政府ハ輸出入制限力單ニ通商ノ制限ヲ目的トスルトキハ弊害多シトノ見解ヲ有スルヲ以テ經濟財政會議ニ於テハ斯ル方策ノ撤廃セラル、ニ至ランコトヲ希望ス英國ノ採用セル肉類「クオータ」制度ハ實ハ生産過剩ノ弊害ヲ避ケントスルノ目的ニ出テタルモノニ過キス故ニ冷肉凍肉ノ輸入ハ自由トサレタリ英國ハ其ノ輸入ヲ數年前ノ通常水準以下ニ下ケントスル意思ナキコトヲ強調シ度シ又生産ノ調節ヲ図ル場合及經濟界ノ安定スル迄ノ過渡的期間ノミニ適用アルヘキ例外ハ別トシ輸出入制限ヲ撤廃スル為經濟財政會議ニ於テ新協定ノ成立センコトヲ希望ス

(四) 「エルベル」氏（仏隨員）

仏國ハ現下ノ恐慌襲来ニ対スル用意ナカリシ為替低落セル諸國ヨリ輸入サル、大量ノ貨物ニ対スル方策トシテ一九三一年六月石炭及窒素同年八月木材及葡萄酒ニ「クオータ」制ヲ採用スルニ至リ遂ニ他ノ産業ニモ広ク此ノ制度ヲ及ホスニ至リタルモ其ノ適用上種々ノ困難ヲ伴ヒタルノミナラス結果ハ必シシモ所期ノ目的ニ副ハサリキ他ノ一方法即チ輸入特許制度モ亦弊害ヲ伴ヒタリ然ルニ「クオータ」制度ハ其ノ採用ノ結果生産並ニ分配上一定ノ秩序ヲ發生シタルヲ以テ今遽ニ之カ廢止ヲ企ツルコトモ稍々困難ヲ伴フヘク又或種ノ「クオータ」ハ内國市場ニ外國品ノ殺到スルヲ防止スル為缺クヘカラサルモノトナリ居ル有様ナリ仏國政府トシテハ前述ノ如ク適用困難ニシテ弊害ノ伴ヒ易キ「クオータ」制、特許制度ヲ撤廃スルコトハ其ノ希望スル處ニシテ是等ニ代フルニ關稅ヲ以テスヘク目下調査中ナルモ廉価トナレル外國品ニ対シ市場ヲ保護スル必要上実行容易ナラサルカ如シ但シ仏國政府ハ生産者間ノ協定ヲ以テ漸次「クオータ」制度ニ代ヘントスル案ニハ好意ヲ有ス

(五) 「ドニクル」氏（匈）

中歐並ニ東歐諸國ハ現下ノ農業恐慌ニ際シ其ノ名義上ノ債務ヲ支払フ能力アリヤ又實物支払以外ノ方法ニテ支払ヒ得ルヤノニ一大問題ヲ有ス是等ハ「ストレザ」會議ニ於テ研究ヲ經タルモ經濟財政會議ニ於テモ決断ヲ以テ本問題ノ処理ヲ要スヘシ「ストレザ」會議ニ於テモ説明セラレタルカ如ク中歐並ニ東歐諸國ノ輸入制限ハ國際貸借均衡上ノ目的ニ出テタルモノニシテ右債務問題解決セラレ平常の通商關係回復セラレタル上其ノ過剩農産物ノ輸出可能トナリタル後ニ於テナラハ中歐並東歐諸國ハ欣然其ノ輸入制限ヲ撤廃スヘシ

(六) 「ドヴォラセック」氏（匈）

智恵古ニ於テハ一九三一年七月初メ輸入制限ヲ行ヒタルカ其ハ他ノ諸國ニ於ケルト同様外國為替ノ管理並ニ諸外國ノ採レル貨幣政策ニ対抗スルノ必要ニ發シタリ即チ諸外國中對外支払困難ニ陥レルモノ關稅牆壁ヲ設定スルモノ等發生スルニ及ヒ智恵古モ外國為替相場ノ低落ヲ防止スル為替管理ヲ行フノ已ムナキニ至リタリ而モ之カ即時撤廃ハ中

欧並ニ東歐諸国トシテハ信用恐慌並ニ輸出貨物ノ値下リニ依ル國際貸借上ノ困難ニ鑑ミ容易ナラサルヘシ要スルニ問題解決ノ鍵ハ大債權国ノ手中ニ在リ債務協定ノ成立並ニ大債權国ノ市場開放ニ依リテノミ中歐東歐諸国ハ再ヒ健全ナル基礎ノ上ニ置カルヘシ

(iv) 「ランゲンホーヴ」氏（白）

白耳義ハ一九三一年以来主トシテ露西亞ノ「ダンピング」対抗策トシテ保護政策ヲ採用セル次第ナルカ近來石炭農產物並製造品（靴、絹織物、自働車）ニシテ生産國自身ノ市場ニ捌ケサルモノヲ白耳義市場ニ輸入スルコト多ク之カ対策トシテ新関稅設置迄「クオータ」制ヲ採用スルコト、シタリ然ルニ之ニ關聯シテ輸入ノ特許ヲ得タル者ノ暴利問題トナリ最近白耳義政府ハ「クオータ」制ハ今後之ヲ新設セサルコトニ決定シタリ尚貿易制限廃止ニ関シテハ白耳義政府ハ各国一齊ニ之ヲ撤廃スルカ又ハ其ノ他適當ノ方法ヲ以テ撤廃スルコトニ賛成ナリ

第三項 経済及財政ノ相関々係

本問題ニ付テハ直チニ各國委員ノ意見表明ニ入レルカ其ノ表明セル意見ノ要旨左ノ如シ（後掲第二節「ノート」前文参照）

(i) 「サードレデリック」氏（英）

大戰後金融ノ中心紐育ニ移リタルモ不況到来ノ結果紐育市場ハ遽ニ資金ノ回収並ニ信用ノ緊縮ヲ為スニ至リ大產業国ハ輸入殊ニ食料品並ニ農產物ノ輸入ヲ制限スルニ至レリ故ニ解決ノ鍵ハ輸入制限ノ除去セラル、ト同時ニ債權国カ債務國ヨリ貨物輸入ヲ許スニアリ

(ii) 「ポツセ」氏（独）

經濟財政相関々係問題ハ困難ナル問題ニシテ單ニ通商障礙問題ニ付テモ債權國ト債務國トノ間ニ意見分レ仏國等ハ「クオータ」制ハ廢スルモ關稅增徵ヲ要スト考へ独乙等ハ輸入制限廢止ト同時ニ關稅上ノ障礙モ撤廃セサルヘカラストナス債務國ハ通商ノ制限全廢セラレ其ノ生產品カ自由ニ國際市場ニ送ラルニ非レハ其ノ債務ヲ支払フノ機會ナカルヘシ

(iii) 「ディ」氏（米）

物価問題ニ付テハ今ヤ物価ハ底ヲ突キテ漸騰ノ形勢ニ在ルコト、通貨問題ニ付テハ金本位復帰ノ可能性アルコトニ留意スルヲ要スヘク是等ニ問題ト債務整理問題、國際貿易問題トハ本委員會ノ主要問題タラサルヘカラス米國ハ是等諸問題ニ多大ノ関心ヲ有シ居リ之力解決案ヲ得ルニハ協力ヲ惜マス

(iv) 「パルマンティエ」氏（仏）

仏國ノ貿易收支ハ戰前ノ入超六十億法ヨリ百二十億法（一九三一年）ニ增加シ仏國ハ其ノ債權國タルノ地位ニ順應シツ、アリ仏國トシテハ經濟財政相関々係ニ闊スル各國委員ノ言説ニ賛成ナルモ唯自國ノ緊要產業保護ノミハ之ヲ廢スルヲ得サル立場ニ在リ

(v) 「タシナリ」氏（伊）

經濟分科會ノ諸問題ハ實ハ財政分科會カ通貨問題殊ニ國際債務問題ニ闊シ一定ノ結論ヲ得ル迄ハ充分ナル解決ヲ得ル能ハサルヘシ

(vi) 「ドニクル」氏（匈）

債務國側ハ金融、通貨狀態力現状ニ止ルトキハ自然其ノ通商政策ヲ変更スルコト能ハス何トナレハ通商障碍ノ除去ニ依リテ債務國側ノ輸出量増ストナスモ採算ノ取レ得ル価格ヲ以テ輸出スルコト能ハス從テ必須ナル貨物ノ一定量ノ輸入ヲ餘儀ナクセラル、ト同時ニ其ノ債務ヲ支払フコトハ現状ニ於テハ不可能ナリ

第四項 公共事業

本問題ニ闊シテモ直ニ各國委員ノ意見表明ニ入りタルカ「エルステット」氏（勞働事務局雇主側代表）「ジユーオー」氏（勞働事務局被傭者側代表）「ドミチエリス」氏（國際農業協會代表）「ポツセ」氏（独）「グアルネリ」氏（伊隨員）「サードレデリック」氏（英）ノ意見表明アリテ結局本問題ハ經濟的見地ヨリ之ヲ見ルトキハ生產的且國際的性質ヲ有スル

公共事業ハ恐慌殊ニ失業ヲ緩和スルニ与リテ力アルコトヲ認ムルモ之カ為ニ要スヘキ資金調達ノ可能性ニ関シテハ財政分科会ノ意見ヲ求ムヘク経済分科会トシテハ本問題ヲ本会議ノ議題ニ加フルコトニ賛成ナル旨決定セリ（後掲第二節「ノート」第六参照）

第五項 「ボイコット」問題

本邦河合ヨリ「本分科会ノ重要問題タル貿易障碍ニ関聯シテ特ニ注意スヘキハ極東ニ於ケル「ボイコット」問題ニシテ其ノ影響ヲ蒙レルモノ独り日本ニ止マラスル重要ナル市場ヲ保全スル方法ヲ考究スルハ世界的不況ノ現状ニモ鑑ミ極メテ望マシキコトニ属ス余ハ経済財政会議ニ於テ本問題解決ノ方法ヲ考究スルヲ以テ時宜ニ適スト思考シ茲ニ右会議我方代表カ本問題ヲ提出スルノ権利ヲ留保セントス」ト述へ之ニ対シ「ボッセ」氏（独）ハ日本委員ノ言説ハ充分理由アリ「ボイコット」等ノ手段ハ経済的利益ノ保護上之ヲ許スヘキニ非ル旨ヲ述ヘテ我提案ヲ支持セリ（後掲第二節「ノート」第一ノ一〇参照）

第六項 関税政策問題

一、委員長質問書

本問題ニ関シ委員長ノ発セル質問書ノ大要左ノ如シ

- (1) 最近几年間ニ於ケル各国関税政策ノ傾向及其ノ重要方策並ニ方策採用ノ時期理由
- (2) 外国ノ重要関税方策ニシテ自國ノ輸出貿易ニ影響重大ナリシモノ
- (3) 原料（特ニ石炭材木等）農産物及完製並半製品ニ関スル各自國ノ関税政策
- (4) 貴國ハ関税率ヲ安定又ハ低下セントスル政策ヲ採用スルノ用意アリヤ若シアリトスレハ其ノ限度、条件、形式方法（相互的、地方的又ハ世界的）如何

二、各國委員ノ表明セル意見ノ要旨左ノ如シ（後掲第一節「ノート」第二参照）

- (1) 「ボッセ」氏（独）
獨逸ハ一九〇二年以来低度ノ保護関税ヲ行ヒ來レル處近來物価暴落ノ為此ニカ其ノ程度ヲ変更スルノ已ムナキニ至リタルカ独乙トシテハ債務支払ノ為輸出貿易ヲ強行セサルヲ得ス為ニ諸外国ニシテ之ニ対抗シテ関稅ヲ設定スルモノ多ク此ノ為独乙ノ輸出ハ百三十五億麻克ヨリ約五十億麻克（一九三一年）ニ減少シタリ独乙ハ關稅率ヲ安定シ之ヲ低下セシムルノ用意アリ而シテ之ハ出來得ル限り広範囲ノ協定ニ依リタキモ之カ実現ハ諸外国ノ貿易政策如何ニ依ルヘク現下ノ地方的協定ノ傾向ハ面白カラス
- (2) 「サード・フレデリック」氏（英）
一九三一年十一月以来ノ英國累次ノ新關稅ハ近年ニ於ケル英國輸出貿易ノ激減（昨年ノ貿易上ノ入超ハ四億一千万磅ニ達シタリ）ニ原因スルカ故ニ英國ノ現關稅政策ハ永久的ノモノト見サルヘカラス殊ニ鐵及鋼鐵工業ニ於テ然リ英國政府ハ關稅方策ニ依リ経済的基礎ノ不確実ナル産業ヲ振興セシムヘキニ非スト信スルカ故ニ努メテ輸入ノ自由ヲ圖リ又他國ニシテ應スルトキハ英國ハ相互的ニ關稅率ヲ低下スルニ吝ナラス
- (3) 「バルマンティエ」氏（仏）
仏國ハ好況時代ニ農產物以外ノ大部分ノ關稅ヲ固定シタリ今後ノ關稅政策ニ關シテハ仏國ハ國家須要ノ産業ヲ脅サレス且社会的財政的悪影響ナキ限りハ關稅戰ノ停止ニ賛成ナリ現下ノ具体的方策トシテハ自分ハ可動的附加稅ノ賦課ヲ以テ「クオータ」制度ニ代フルヲ可ト考フ唯ニニ関聯シ最惠國約款問題ヲ惹起スルコトアルヘキハ之ヲ承知ス仏國ハ關稅率ノ固定ヲ忌ムモノニシテ從来ノ補償稅主義ヲ飽ク迄採用シタシ
- (4) 「ドニクル」氏（匈）
關稅問題ノ會議議題トサルヘキハ當然ナルモ現在ニ在リテハ解決案ノ概要スラ規定シ難シ

匈牙利ハ外國殊ニ工業国ト一國間取極ニ依リ匈牙利農產物ニ課セラルヘキ閑稅ノ低下ヲ凶ルコトヲ期待シ居レリ「ストレザ」會議ニ於テハ中欧、東欧農業国ノ經濟的復興策トシテ特惠制度問題議セラレタルカ匈牙利ハ本問題力中絶セラル、コトナク財政經濟會議ノ議題トナランコトヲ希望ス

(イ)「ディ」氏（米）

米国ハ從来農產物ニ於テモ工業製品ニ於テモ米国ノ產物ト競爭スル地位ニ在ルモノニ付テハ等シク保護閑稅ヲ課シタルカ然ラサルモノニ付テハ無稅トシスル貨物ハ米国輸入品ノ三分ノ二ヲ占メタル狀況ナリキ一九二三年ノ閑稅増徵ハ通貨下落国ヨリノ輸入ニ對シ米國市場ヲ保護スル為ナリシカ是ハ米国ノ貿易ニ何等影響ヲ与ヘス一九二九年迄ハ貿易漸増ヲ続ケタリ由是觀之通商上ノ阻礙トナルハ寧口稅率ノ不安定ニ在ルヲ知ルヘシ一九三〇年ノ增徵ハ米國農業ノ不況ニ基因ス同年以後ハ輸出入共減少ヲ來シタルモ右增徵ノ結果ハ多様多岐ニ亘リ遽ニ論斷ヲ許サス将来ノ米國閑稅政策ニ關シテハ自分ハ政府ヲ「コンミット」セサル一専門家ノ觀察ヲ述ヘ得ルニ過キサルモ恐ラクハ一米国ハ今後益々輸出國タラントスルニ至ルヘキコト（二）戰後新タニ獲得シタル債權國タルノ地位（三）現存通商障礙ニ對スル不安ノ益々痛感セラル、ニ至ルヘキコト等ハ米国ノ閑稅政策ヲ變更セシムヘキ素因ナルヘシ倫敦本會議ニ於テハ通商自由ヲ齋ス力如キ通商政策ヲ採用スル協定ヲ成立セシムルカ然ラスンハ少クトモ現状ノ安定ヲ図リ閑稅戰停止策ヲ採ルコト重要ナリ

(II)河合（日）

我国ノ閑稅ハ一九一一年ノ閑稅定率法ヲ以テ其ノ基礎トシ原料品ハ無稅、半製品ハ極少額、完製品ハ一割五分乃至四割ノ從価稅ヲ課ス右自主的稅率ノ外若干國トノ間ニ協定稅率ヲ設ケタルカ之カ利益ハ最惠國約款ニ依リ總テノ條約國ニ均霑セシメタリ一九二六年ニ至リ經濟事情ノ變更ニ應シ若干稅率ノ變更ヲ見タルモ現時我邦ノ閑稅收入ハ輸入貨物價格總額ノ六乃至七「パーセント」ニ過キス奢侈品ニ對シ十割閑稅ヲ課シ（其ノ後稅率ヲ可成低下セリ）又円價激落

ノ結果生シタル從量稅、從價稅間ノ不均衡ヲ回復スル為從量稅ヲ三割五分增加セリ我邦ハ諸外國ノ閑稅政策ニ依リ相當打擊ヲ受ケツ、アルモ差當リテ廣汎ナル閑稅改正ヲ考ヘ居ラス

(イ)「タシナリ」氏（伊）

伊國政府ハ經濟不況ノ結果協定外稅率ノ或モノヲ增加セサルヲ得サルノ已ムナキニ至レルモ主義上ニ於テハ他國モ伊太利ニ同様ノ利益ヲ与フルノ条件ノ下ニ現存閑稅安定ヲ目的トスル希望ニ應スル用意アリ伊國ハ閑稅率取極ニ關シテハ二國間協定ヲ適當ト考フ而シテ本分科会ノ委員中自國市場保護ヲシテ傾向顯著ナルニ鑑ミ伊太利政府ハ其ノ将来ノ閑稅率政策ニ關シ重大ナル留保ヲ為ササルヲ得ス

(ロ)「ランゲンホーヴ」氏（白）

白耳義ハ從來自由主義ヲ採り來レル処恐慌以來財政上ノ理由ヨリ多少其ノ政策ヲ變更シ農產物輸入稅ノ復旧、織物輸入稅ノ附加、協定外稅率ノ一率一割五分増等ヲ餘儀ナクセラレタリ尚「タオーテ」制度ニ依リ他國市場ニ入ルコトヲ拒否セラレタル貨物ノ流入ヲ避クル為他ノ制限ヲモ設ケタリ白耳義ハ從來國際通商改善ノ努力ヲ惜マサリシモ之カ國際的解決成ラサリシニ依リ之ニ代ヘテ「オスロー」協定及「ウシ」協定ヲ締結スルニ至レリ後者ノ如キハ通常ノ二國間取極ニテ最惠國約款ノ適用アリ白耳義ハ倫敦會議ニ於テ成立スルコトアルヘキ一般的協定ニ加入スルノ用意充分ナリ若シ一般協定成立セサルニ於テハ小國側ハ二國間取極ニ依リ難局ヲ切抜クルノ外ナカルヘシ

三、右ヲ以テ閑稅政策問題ニ關スル各國委員ノ見解表明ヲ終リタルカ次テ獨乙委員「ボッセ」氏ヨリ國際閑稅品目表採択協定ヲ本會議ノ議題トナサンコトヲ提議シ本分科会ノ賛成ヲ得タリ（後掲第二節「ノート」第四参照）次テ「サー・フレリック」（英）ハ經濟財政會議カ其ノ事業ヲ完了スル迄各國政府ニ於テ閑稅ヲ增加セス又如何ナル方法ニ於テモ通商障礙ヲ激化セサルノ義務ヲ負フヘキ約束（Protocol）ニ第二次準備委員会会合ニ於テ調印スヘキ權限ヲ各自政府ニ求メンコトヲ提議セルモ本分科会ハ斯ル提案ヲ討議スルノ權限ナシトノ反対意見多數出テ結局撤回セラレタリ

一、本問題ニ付テハ国際聯盟事務局代表「スト・パニ」氏ハ本問題ニ関シテハ(イ)各國平等待遇確保ノ機関トシテ最惠国約款ノ問題ト(ロ)同約款ノ一部不適用並ニ除外例問題トヲ区別スルヲ要スル旨指摘セル後各國委員ノ見解表明ニ入りタルカ表明サレタル意見ノ要旨左ノ如シ（後掲第二節「ノート」第三参照）

(イ)「ボツセ」氏（独）

最惠国約款問題ニ關シテハ遺憾ナルコトニアリ一ハ約款ノ内容ニ關シ相互的讓歩事項カ漸次撤回サル、コト他ハ関税協定存続期間カ短縮セラレ甚シキハ協定交渉期間カ其ノ存続期間ヨリモ永キカ如キ事態ヲ見ルコトナリ又本約款ノ効果ハ関税約定国ニ於テハ充分之ヲ認メラル、モ関税自王国ニ於テハ單ナル特權賦与タルニ過キス独乙ハ聯盟ノ首唱ニ依リテ締結サレタル多數国間條約ニ入ル慣ナルモ經濟財政會議ニ於テ經濟戰ヲ終結セシムヘキ協約成立スルニ至ラハ斯ル規定ノ必要ナキニ至ルヘシ「ストレザ」會議ニ於テハ中欧東欧諸国ニ特惠賦与ノ問題議セラレタルモ右ハ最惠国約款抵触問題ヲ生スヘシ但シ特惠制度ニ依リ利益ヲ受クル国ノ購買力増進ハ延テ諸外国ノ利益トナルコトヲ忘ルヘカラス米国ハ特惠制度ニハ反対ナルモ歐洲問題解決案ニ対シテハ好意的考慮ヲ惜マストノ意ヲ示シタルカ「ストレザ」會議ハスル解決案ヲ提示シタルモノニ外ナラス

(ロ)「パルマンティエ」氏（仏）

現時外國為替管理カ諸国ニ於テ行ハレ居リ又或國ハ甚シキ廉価ヲ以テセラル、貨物ノ大量輸入ヲ受クル虞ヲ抱ク現下ノ狀況ニ於テ本約款ノ根本原則カ嚴重ニ行ハレ得ヘキヤ疑ナキ能ハス本約款ニ關聯シテ多數国間協定殊ニ生産者間協定トノ關聯ヲ研究スルノ要アルト共ニ中欧、東欧諸国救濟方法ヲ阻害セサル点ニモ注意スルヲ要ス故ニ世界經濟常態ノ回復ニ至ル迄一時的措置タル諒解ノ下ニ本原則ノ例外ヲ認ムルコト可ナルヘシ

(ハ)「デイ」氏（米）

最惠国約款ノ主義ハ諸国ノ採用シタル處ナルモ現下ノ變則的事態ノ下ニ於テハ之ニ若干ノ例外ヲ認メントスルコトモ亦一理アリ唯之ニ關シテ相反スル利害ノ調和ヲ図ルコト問題トナルヘシ而シテ斯ル例外ハ動モスレハ永久的ノモノトナル虞アレハ細心ノ注意ヲ以テ之ヲ考慮スルヲ要ス本會議ニ於テハ本問題ノ議題トセラル、ト共ニ之カ永続的基礎ヲ確立スヘキ可能性ヲ検討スルコトヲ望ム

(二)「ガルネリ」氏（伊隨員）

通商條約締結ニ關シテハ経験ニ徴スルニ數国間ノ交渉ハ効果ナクニ国間ノ交渉カ唯一ノ方法ナリト認ム最惠国約款ニ關シテハ單ニ現状打開ニ缺クヘカラサルノミナラス國際貿易常態化ノ為ニモ必須ナリト信ス中欧東欧農業国救濟方法ニ付テハ伊国政府ハ第三國ニ対シ不利ナラサル限り之カ解決案ヲ考慮スルノ用意アリ

(三)「サー フレデリック」氏（英）

英國政府ハ最惠国約款ヲ國際通商ノ基礎トシテ重視シ來リタリ然ルニ近時之カ適用上困難ヲ感スルニ至リタルニ依リ本會議ニ於テハ本約款ヲ一層効果アラシムヘキ方策ヲ研究スルコト望マシカルヘシ蓋シ本約款ノ除外例ハ第三國ニ対スル差別的待遇ヲ為スノ結果トナルヲ以テナリ英國カ「ウシー」協定所定ノ方法ニ反対ナル理由亦茲ニ在リ但シ英國政府ハ現下ノ事情ニ鑑ミ英國ニ不利ナラサル限り本約款ヲ餘リニ嚴格ニ適用スルヲ不都合トナス特別ノ場合ヲ考慮スル用意ヲ有ス中欧東欧農業国目下ノ難境ハ西欧諸国ノ極端ナル農業保護ニ基ク所アリ之カ解決案ハ單ニ歐洲問題トナスコトナク更ニ一般的ナル問題トシテ本會議ノ考慮スル所トナランコトヲ希望ス

(イ)「ステンス」（白隨員）

白耳義ハ最近締結セラレタル協定ニ於テハ聯盟經濟委員会カ本約款ニ關シテ規定シタル原則ヲ実施スルコト、ナシタリ白耳義政府ハ本會議ニ於テ特ニ本約款ノ法律的地位ノ確立セラレンコトヲ希望ス多面的協定ニ關シテハ未タ其ノ真価ヲ断言シ得ヘキニ非ス本會議ニ於テ本約款ヲ多面的協定ニ適用シ得ルヤ否ヤヲ審議セラレンコトヲ真

(ト)「ボッセ」氏（独）再び発言ヲ求メ

本會議ニ於テ最惠国約款問題ニ関シ協定ニ到達スル為ニハ先ツ経済分科会ニ於テ税率ノ過当ナル細定本約款ト「クオータ」制トノ関係等ノ關聯問題ヲ検討スルヲ要スルコト為替管理採用ノ事実ヲ理由トシ通貨制度保護ノ為之ヲ餘儀ナクセラレタル國ニ不利益ヲ齎ラサントスルノ不可ナルコト廉価ナル外国輸出品ニ對シ貿易政策ヲ以テ対抗スルカ如キハ一国ノ任意ニ行フニ委ヌヘキニ非ルコト、「アンティ・ダンピング」方策ハ往々差別的取扱ニ陥ルコトアルコト、価格均衡ノ為ニスル関税（Equalizing Duties）モ亦然ルコト、「ウシー」協定ハ第三國ニ對スル關係ニ於テ関税ヲ増加セサルニ反シ「オツタワ」協定ハ第三國ニ不利ナル等地方的協定ニ種々アルコト、中欧東欧諸國問題ヲ世界的解決ニ委ヌルハ同問題解決ノ永久的遷延ニ等シキコト本會議ニ於テハ最惠国約款主義ヲ採ルカ又ハ相互主義ヲ採ルカラ截然決定スルコトヲ希望スル

旨等開陳シタリ

(ア)「ドヴォラセツク」氏（智）

最惠国約款適用除外例ノ一タル地方的協定ニ関シテハ将来ノ貿易政策ニ遠大ナル変更ヲ齎ス如キ「オツタワ」協定ノ如キト時間的ニモ一時的ニシテ貨物ノ範囲モ限定セラレ居ル「ストレザ」協定ノ如キトハ之ヲ區別セサルヘカラス「ストレザ」協定ヲ本會議ノ議題トナサントスルハ之カ実施トナシテ面白カラス

(イ)河合（日）

帝国政府ハ今後モ最惠国約款ヲ通商協定ニ關スル政策ノ基礎トナスニ於テ何等変ルコトナシト雖モ本約款ヲ最広範囲ニ適用スル目的ニ出ヅル總テノ努力ニ協力スルノ用意アリ

二、聯盟事務局代表「ストパニ」氏ハ通商制限問題、関税問題等カ現下難局ノ緊急的救済策ナルニ對シ通商協定問題ハ現下變則的狀態ノ平常化ニ關スルモノナルコト最惠国約款適用除外例ノ問題ヲ集團的協定ニ關聯シテ有利ニ解決スルハ同

約款ノ概念ヲ破壊スルノ危険アルコト「オツタワ」協定ノ如キヲ本約款適用ノ除外例ト為サマルニ於テハ通商協定問題ノ總テヲ無ニ帰スルニ至ルヘキコト、本問題ニ關シテ最モ切実ナルハ例外ノ範囲如何ニ非スシテ例外ノ惹起シタル通商障碍ノ加重ニ在ルコト等ヲ指摘シタリ

第八項 産業協定問題

委員長ハ本問題ニ關シテハ其ノ各々ノ内容ニ立子入ルコトナク極メテ一般的ナル意見ノ交換ノミニ止ムルコトヲ勧告シ左ノ如ク処理セリ（後掲第二節「ノート」第五参照）

(一) 小麦ニ關シテハ「ドレ」氏（國際農業協會）ノ小麦滯貨ニ關スル報告アリタル後第二次準備委員会ニ於テ討議スルコトニ決定サレタリ

(二) 石炭及(三)木材ニ關シテハ聯盟經濟委員会カ豫備的研究ヲ遂ケタル旨委員長ヨリ説明アリ之ヲ會議ノ議題トナスヘキヤ否ヤニ關シテハ第二次準備委員会ニテ考慮スルコト、ナレリ

(四) 其ノ他ノ貨物ニ關シテハ「ステンス」氏（白隨員）ヨリ仏、白、和、間原料協定其ノ他ニ關シ説明アリ之ヲ會議ノ議題トスヘキヤヲ問題トセントシタルモ多數委員ノ反対アリテ止ミタリ

第九項 間接的産業保護問題

本分科会ハ本問題ヲ第二次準備委員会合ニテ討議スルコト、セリ「サー・フレデリツク」氏（英）ハ一般船舶問題並ニ船舶補助金問題ヲ「ディ」氏（米）ハ補償契約問題ヲ夫々次回会合ニテ討議センコトヲ提議セリ（後掲第二節「ノート」前文参照）

第十項 其ノ他ノ問題

委員長ハ外国人取扱問題ヲモ第二次準備委員会ノ問題トナスヘキコトヲ提議シタリ（後掲第二節「ノート」前文参照）

第二節 経済分科会ノ事業ニ関スル「ノート」ハ劈頭先づ審議ノ一般的方針並分科会ノ一般的結論ヲ掲ゲタル後

経済分科会ノ事業ニ関スル「ノート」ハ劈頭先づ審議ノ一般的方針並分科会ノ一般的結論ヲ掲ゲタル後

第一 輸入制限問題

第二 関税率政策

第三 通商条約

第四 関税品目表

第五 生産協定及

第六 公共事業

ノ標題ノ下ニ各問題ニ付表明サレタル意見ノ要旨ヲ掲記セリ以下「ノート」全文ヲ訳出（仮訳）掲載スベシ

本分科会ハ其ノ討議ニ際シテハ主トシテ直接不況ト關係アリ且ツ國際會議ニ於テ解決ヲ見出シ得ベキ諸問題ニ注意ヲ傾倒セリ其ノ検討ハ本来豫備的ノモノニシテ根本的ナル數事項ニ限ラレ現時ニ於ケル經濟政策ノ主タル潮向並未會有ノ廣範囲ト急速度トヲ以テ凋落ノ一路ヲ辿レル國際貿易ノ改善ノ依テ懸ル因子ヲ闡明スル目的ヲ以テ進メラレタリ

本分科会ハ最初ノ一般的結論ニ到達セリ

過去二ヶ年ニ亘リ單ニ關税率ノ増加ノミナラズ輸入禁止「クオータ」外國為替管理並其ノ結果（為替決済協定、補償協定其ノ他）トニ依ル數多ノ貿易制限ハ一九二九年國際通商ヲ阻礙シ既ニ重大トナリ居リシ貿易上ノ牆壁ニ新タル牆壁ヲ加ヘタリ景氣回復ノ可能性ハ此等加重サレタル諸制限ノ緩和並ニ撤廃ニ依リ著ルシク促進サルベシ本問題ハ為替取引ノ自由再建並ニ外國為替管理制度ノ廢止ト密接ノ關係ヲ有シ之ガ解決ニハ通貨並通商兩部門間ノ協調的処置ヲ必要トス中歐並ニ東欧方面ニ於テ特ニ然リ

然レドモ之ト同時ニ有ユル景氣回復ニ実現ノ機會ヲ与フルガ為ニハ恐慌前及恐慌中多数ノ国ノ通商政策ヲ左右シタリト認

メラル過當ナル保護主義ヲ緩和スルノ手段ヲ採ル事必要ナルベシ

本分科会ハ大戰以後金並ニ資本ノ國際的移動が國際收支上過當ノ役割ヲ演ジタルコトヲ強調セリ產金國ヲ除キテハ金ノ移動ハ國際收支調整ノ單ニ一時的均衡方法タルニ過ギズ又資本ノ移動ハ久シク債權國債務國間ノ收支均衡ノ極メテ重要ナル要素ヲ為シ來リタリト雖モ窮局ニ於テハ貨物並ニ勞務ノ移動ハ此ノ過程ニ於ケル主タル要素タラザルベカラズ事実現在ノ恐慌中ハ右ハ多数債務國ノ唯一ノ債務履行ノ方法ナリ

本分科会ハ多クノ生産者ノ難境ハ彼等ヲシテ其ノ「ストック」及生産品ヲ廉価ニ清算スルノ餘儀ナキニ至ラシメ居ルコト及此ノ販売ハ其ノ結果タル輸出ノ向ケラル諸國ニ危懼ノ念ヲ生ゼシメ為ニ更ニ均衡回復ノ過程ヲ阻礙スル手段ニ出デシムルモノナルコトヲ認メタリ如上ノ考慮ニ基キ本分科会ハ逐次左ノ如キ諸問題ヲ討議セリ

(一) 輸入制限

(二) 関税率政策

(三) 通商條約政策特ニ最惠國約款關係並ニ「ストレザ」協定

(四) 國際經濟協定

(五) 公共事業

(六) 次回会合ニ於テ本分科会ノ討議スベキ諸問題輸出補助金直接並ニ間接補助金「ダンピング」防止關稅並ニ手段原產地

記標關稅手続並ニ技術不正競爭補償協定並ニ為替決済協定其他通商障礙トナルコトアルベキ諸方策外国人取扱右ニ関シ本分科会ハ前掲各分野ニ於ケル方策ノ改善ノ必要ガ何レノ点ニ在ルヲ問ハズ斯ル方策ハ國際通商組織ノ全般ニ亘ラザルベカラズトノ見解ヲ表明セントス若シ國際會議ガ現下經濟不況ノ根柢ヲ突ク手段ニ依リ諸國間ノ通商關係ヲ復活スベキモノトセバ須ラク國際通商ノ全局面ヲ同時ニ討議スルヲ要スベシ

第一 輸入制限問題

一、本分科会ニ於テ開陳セラレタル諸「ステイトメント」ニ依リ左ノ一事実ヲ明瞭ニセリ

即チ現存諸制限ハ恐慌殊ニ一九三一年春ニ於テ金融並ニ通貨方面ニ最モ顯著ニ現レタル恐慌ノ所産ナリ之等方策ハ恐慌ノ程度ヲ更ニ深刻化セリ以前ニ於テハ二三ノ例外ヲ除キ各國拳テ一九二七年経済會議ノ規定シタル通商自由ノ制度ニ復帰スルノ傾向ニ在リ國際通商上國家ノ採リタル措置ノ主タルモノハ関税率変更ノ形式ナリキ

二、制限ヲ実施シタル諸国ハ結局左ノ二ツノ根本的原因ニ歸シ得ベキ理由ニ依リテ此處ニ至レルモノナリ

即チ或ル国ハ先以テ通貨並ニ金融上ノ考慮ニ依リテ動カサレタリ是等制限ハ「クオータ」制度輸入免許又ハ為替管理等何レノ形式ヲ採ルヲ問ハズ是等ノ国ニトリテハ恐慌ノ其ノ國際收支上ニ及ボスベキ影響ノ結果通貨ノ低落スルヲ防グニ必要ナル手段ト認メラレタリ多額ノ債務ヲ負担セル諸国ニ於テ特ニ然リ

他ノ諸国ハ寧ロ經濟的考慮ニ依リテ左右セラレタリ其ノ関税ノ大部分ヲ固定シ且ツ外国ニ於ケル生産過剩ト物価下落ノ結果トシテ貨物ノ流入スルヲ怖ル、國ハ其ノ國民經濟保護ノ唯一ノ途ヲ「クオータ」制又ハ輸入免許ニ依ル量的制限方法ニ求メタリ加之或國々ニ於ケル輸入阻止ハ貨物ヲ其ノ平素ノ市場ヨリ転シテ入り込み得ベキ諸国ニ向クルノ結果ヲ惹起シタリ

更ニ他ノ諸国ニ於テハ主義上此ノ政策ニ反対ナルモ其ノ輸出ニ影響スル方策ニ対処スルニ同様ノ方策ヲ以テセリ此ノ点ニ関シ注目ニ値スルハ從来殆ド制限ヲ為サリシ或ル政府等ハ其ノ市場ノ漸次縮小シ其ノ經濟生活ニ面白カラザル影響ヲ招クニ至ル結果自ラモ之ニ依ランストスルノ意思ヲ表明セルコトナリ

三、過去一年有餘ノ経験ハ制限政策ノ結果ハ遺憾ノ点多キコト及之ガ実施ニ當リ困難アルコトヲ示セリ概言スレバ此ノ結果ト困難ノ存スルコトハ何人モ否定セズ又可成速ニ之ヲ除去スルノ望マシキコトハ全員ノ認ムル所ナリ
本分科会委員中ノ数名ハ此ノ方針ニ基キ措置ヲ採ルコト然ルベシト為セルモ他ノ委員ハ弊害ノ直接ノ影響ノ是正ニ努ムルヨリモ第一ニ弊害ノ根柢タル原因ヲ突クコト必要ナルベシトノ意見ヲ表明セリ何レニセヨ斯ノ如キ措置ノ依テ懸ル条件

件ハ制限方策採択ニ至レル原因如何ニ依リテ異ル諸委員ハ禁止又ハ制限廃止ハ同時ニ關稅問題ヲ解決シテ初メテ可能ナルベキ旨ヲ述べタリ

四、主トシテ通貨關係ノ考慮ニ依ル制限ハ其ノ關係ニ於ケル事態ノ改善ニ伴ヒ撤廃スルコト可能ナルベシ故ニ此ノ方面ヨリ問題ヲ検討スルコト望マシカルベシ

同様ニ物価ノ不均衡又ハ他国ニ於テ豫メ課セラレタル制限ニ原因スル制限ハ物価均衡ノ再建セラレ又ハ他国ガ制限ヲ拠棄スルニ応ジテ漸次消滅スベシ

五、或ル国々ニ於テハ制限撤廃ハ種々ナル条件又ハ讓歩ト關聯シ居レリ即チ内國市場ノ適當ナル保護ヲ確保シ又ハ適當ノ販路ヲ獲得スベキ關稅上ノ保障輸出品価額ノ増加又ハ外債ノ負担ノ減少ニ依リ國際收支ノ一層満足ナル均衡ヲ確保すべき保障或ハ生産又ハ販売調節ノ為ノ經濟協定等はナリ右ニ關シ製造品ト農業品トノ間ニ及ビ關稅ニ代ヘラレタル「クオータ」ト關稅ニ併行加重セラレタル「クオータ」トノ間ニ區別ヲ立ツルヲ要スルコト指摘セラレタリ

六、制限ノ撤廃ハ漸進的ニノミ實行可能ニシテ且ツ經濟及び財政狀況全般ノ改善ト充分ナル調和ヲ見ル迄ハ過渡期間ニ對スル必要ナル措置ヲ伴ハザルベカラズ此ノ方面ニ於ケル進捗ハ顯著ナル必要ナキニ至リタル「クオータ」制ノ全廢及尚制限ノ必要ノ認メラルル貨物ニ付テハ其ノ輸入限定量ノ漸増ニ依リ之ヲ實現スルヲ得ベシ此点ニ關シ或種ノ「クオータ」ヲ維持スルモノ或國々ニ於テ既ニ実施セル如ク平常ノ輸入量ニ相當スル程度迄之ヲ引上グルコト望マシカルベシ

七、制限ノ撤廃ハ自主的措置、二國間協定又ハ數国間協定ノ何レカニ依リ實行シ得ベシ是等三種ノ方法ニ依リ見ルベキ今後ノ事態ノ展開ヲ確定スルコト有用ナルベシ

八、右ノ結果トシテ經濟分科会ハ準備委員会總会ガ貨物輸入ノ量的制限方策（禁止、「クオータ」等）ノ漸廃ノ確保ヲ目的のトスル協定（其ノ大綱ハ将来之ヲ指示スルコトアルベシ）ノ締結ヲ會議ノ議題トスベキコトヲ提議スルヲ得ベシ

或委員等ハ右措置ヲ考究スルニ当リテ考究スベキ或種ノ条件特ニ左記ノ如キモノヲ提示セリ

(イ)或種生産部門ニ必要ト認メラルル関税ニ依ル保護ヲ若シ必要アラバ修正シテ維持又ハ供与スルノ保障

(ロ)他方量的制限撤去ニ因ル利益ヲ関税ノ過重ナル増徴ニ依リ減殺セザル保障

(ハ)或ル種生産品ノ生産又ハ輸出ノ調節ヲ目的トスル生産者（又ハ國家）間ノ附帶的協定

ベキ規定

九、為替管理ハ通商上ノ重大ナル障碍ナリ多クノ場合ニ於テ為替管理ヲ其ノ貨物ノ國際的移動ニ對シ直接間接ニ影響ヲ及ボス限り緩和又ハ廃止スルニ非ザレバ禁止又ハ制限ノ撤廃ノ有効ナル措置ヲ採ルコト能ハズ此ノ管理ノ起源ハ通貨狀態ニ関スル困難ニ存スベキモ此ノ困難ハ通商ニ對スル障礙ニシテ除去スルヲ得バ其ノ程度緩和サルベシ從テ右二問題ハ別個ニ取扱ハザルベカラザルモ或委員等ハ禁止又ハ制限撤廃ノ集団的協定ハ外國為替取引管理補償協定及ビ為替決済協定ノ結果タル間接的制限廃止ノ条件ノ下ニ於テノミ可能ナルベシトノ見解ヲ表明セリ而シテ右ハ通貨制度ノ復旧ト國際收支ノ均衡トヲ前提トス

一〇、或委員等ハ政府ノ行フ制限ノ外「ポイコツト」ニ依ル國際貿易ノ損害ニ注意ヲ喚起セリ

第二 関税率政策

一、本委員会ハ関税率政策ノ考究ニ當リテハ特ニ其ノ注意ヲ關税率ノ新ナル増加ノ阻止並ニ現在ノ税率ノ水準低減ノ可能性ニ向ケタリ

斯クノ如キ措置ハ極メテ望マシク且經濟狀態改善ニ有効ナル方法タルベキコト及通貨並金融狀態ノ再建ニ欠クベカラザル因子ヲ成スコトハ一般ニ認メラレタリ

然レドモ討議ハ諸国政府ガ其ノ關稅政策ノ将来ノ傾向ニ關シテ有スル躊躇逡巡ヲ明ニセリ此ノ躊躇逡巡ハ單ニ現下經濟

狀況ノ不安定並ニ其ノ将来ノ展開ノ予測ノ不可能ノミナラズ又多クノ国ニ於ケル金融的因子並ニ為替動搖ノ近キ将来ニ於ケル其ノ國際收支並ニ産業ニ及ボス影響ノ不確実ニ歸シ得ヘキコト指摘セラレタリ

本分科會委員ノ多数ハ現状ニ於テハ第一ノ努力ヲ輸入禁止並ニ制限ノ撤廃ニ向クベキモノト感ズルモ又此ノ問題ハ關稅率ニ關シテ得ラルベキ保障ノ問題ト極メテ密接ナル關係アリ之ヲ考慮ニ入ルベキモノト確信ス

是等制限ヲ防圧スルモ单ニ之等ニ代ヘテ此ノ上關稅率ノ增加ヲ見ルニ於テハ充分ナラザルコト明白ナリ或方面ニ於テハ一層穩和ナル稅率ノ採択ハ現在ノ不均衡是正ノ主ナル方法ノ一ナルベク又此ノ点ニ關シテハ債權國ノ政策ガ特ニ重要ナルベシトノ見解強調セラレタリ

關稅政策ハ國家ノ社会的並ニ經濟的機構ニ影響スルコト及稅率全般ノ根本的且急激ノ変更ハ實行シ得ザルコト認メラレタリ稅率改正ヲ可能トスル方策ノ案出ニ當リテハ經濟的ナラザル生產ヲ獎勵スルノ効果ヲ伴フ過度ノ保護ノ減退ヲ確保スルニ努力ヲ集中スベシトノ提案アリタリ其ノ目的ハ一般的ニヨリ經濟的ナル生產組織ヲ確保スルニ在ラザルベカラズトノ意見表明サレタリ

此点ニ關シ或ル委員等ハ西歐諸國ニ於テ農產物ニ与ヘラレ居ル高度ノ保護並此ノ保護ノ原因ニ特別ノ注意ヲ払ヒタリ或委員等ハ各市場ニ於ケル現在ノ物価ノ変動広範囲且ツ不規則ナルヲ以テ防備的手段ノ急激ノ緩和ハ生產ノ各部門ニ莫大ナル「ストック」存スルヲ以テ貨物ノ流入ヲ招来シ國家經濟上ニ特ニ危險ナル影響アルベシト述ベタリ故ニ彼等ハヨリ自由ナル關稅制度ヲ目標トスル政策ハ必然的ニ段階ヲ追ウテ進ムベク即現在ノ必要ヲ考慮ニ入レタル制度ニ次デ過渡期ノ制度トシ更ニ最後ニ平常ノ状態ニ相当セル制度ニ到ルベシト思惟セリ

他方他ノ委員等ハ關稅率ノ方面ニ於テ急速且有効ナル行動ヲ採ルコト必要ニシテ然ラズンバ自國ノ經濟狀態ノ真ノ改善ハ不可能ト考ヘラル旨ヲ強調セリ彼等ハ又他國殊ニ隣接諸國モ同様斯クノ如キ改善ニ關心ヲ有シ居ルモノト感ゼリ

一一、輸出ト輸入トニ密接ノ關係アルコト及現在ノ資本市場ノ麻痺セル間ハ債務國ノ多數ガ其ノ債務ヲ履行シ得ル唯一ノ方

法ハ貨物並ニ労務ノ輸出ニ在ル事實ノ益々痛感セラレ來レルコトニ注意ヲ払ヒタリ

更ニヨリ大ナル自由ハ一般的經濟回復ニ必要ナルト同時ニ生産ノ大部分ヲ輸出セザル可ラザル諸國ニトリ根本的ニ必要ナルコト指摘サレタリ

更ニ高率ノ賦課ハ各國ノ物価水準ノ開キヲ増大スル傾アルコト並ニ必要ナル均衡ハ物価水準ノ高キ國ガ他國ヨリノ輸入ヲ許シ以テ是等諸國ノ購買力ヲ増進スルコトニ依リテノミ回復サレ得ベキ旨指摘サレタリ

尚物価下落ハ從量税ノ従価的負担ヲ自動的ニ増大スルノ結果トモナルコト指摘セラレ此ノ税ヲ賦課スル諸國ノ場合ニハ現在ノ物価水準ニ鑑ミ再考スベキモノナリト提議サレタリ

三、若干委員ハヨリ大ナル自由ヲ目的トスル今後ノ努力ノ準備トシテ関税率其他保護手段ノ引上ヲ抑止スルノ必要ヲ強調シタリ

四、右ノ点ニ關聯シ関稅制度ノ不安定ハ其ノ國際通商上ニ及ボス弊害高率關稅ト異ラザル旨強調セラレタリ

本分科会ノ他ノ委員ハ物価ノ不安定ハ尚一層重大ナル不安定ヲ招来スルコトアルベキ旨指摘シ差別的性質ヲ有セズトノ了解ノ下ニ单ニ一時的ノ手段トシテ可動的 corrective ヲ適用スルヲ可トスルニ傾ケルガ如シ

第三 通商條約

一、通商條約ノ領域ニ於ケル措置ハ多数国内ノ協定ニ依ルモ又ハ二國間ノ協定ニ依ルモ行ヒ得ベシ或ル委員等ハ何レノ方法ニ依ルモ關稅牆壁低下ヲ齎スベシトナシ他委員ハ結果ニ到達シ得ベキモノハ二國間ノ協定締結ナリト為セリ

二、本分科会ハ一般的且無条件ノ最惠國約款ハ今後共國際貿易制度ノ根本規則タラザルベカラズトノ意見ナリ單ニ相互主義ニ基ク政策ハ重大ナル混雜ヲ來スヲ避ケ得ザルベシ若シ各國が充分自由ナル關稅制度ヲ有スルニ於テハ一般的且無条件ノ最惠國約款ノ適用ハ更ニ容易ナルベシ

三、特ニ最近最惠國約款ニ依リ与ヘラレタル權利ニ關シ見解ノ相違ヲ生ジタリ

此ノ相違ハ概不恐慌狀態ニ因ル例外的措置ニ起因スト雖モ最惠國制度ヲ一樣ノ標準ニ基ク規定ニ依リ通商條約中ニ定義スルコト望マシカルベシ此点ニ關シ委員中國國際聯盟經濟委員會ノ作成セル方式ニ言及セルモノアリタルガ此ノ方式ハ既ニ或ル国々ガ其最近ノ通商協約中ニ之ヲ採用セリ

若干委員ハ特別又ハ地方的ノ特惠ヲ展開セシムル最近ノ傾向ハ最惠國約款適用ノ範囲ヲ夫丈縮少スルノ結果トナルベキコトヲ指摘セリ

約款ノ適用就中過当ニ細別セラレタル税率各種ノ「クオータ」「ダンピング」防止方策並ニ外國為替管理ニ關聯シテ適用サルル場合ニ關シ一ノ協定ヲ設クルコト望マシト認メラレタリ
本分科会ハ本問題ヲ以テ會議ノ議題トナスコト有用ナリト思惟セリ

四、或委員等ハ現下恐慌ノ深刻ニ依リ最惠國約款ノ適用ヲ嚴格ニ為シ得ズタルモ已ムヲ得ザルコト並ニ一時的例外ヲ寛容セザルベカラざルコトヲ強調セリ本分科会ハ斯ル措置ニ出ヅルニハ最モ慎重ナル注意ヲ用フルヲ要スルモノト認ム此点ニ關シテ事態ヲ一般的ニ論ズルハ困難且危險ナルベク個々ノ場合ヲ最大ノ注意ヲ以テ審査シ第三國ニ対スル差別的取扱ヲ避ケベキモノナリ

五、一般的且無条件ノ最惠國約款ハ通商上ノ障礙輕減ヲ目的トスル多數國間ノ條約締結ヲ不可能トナスニ非ザルモ少クトモ困難ナラシムベシトノ指示アリタリ此困難ノ緩和トシテ國際聯盟經濟委員會ハ其ノ一九二九年度報告書中留保条項ノ一類型ニ言及シタルガ右ハ既ニ数ヶ國ニ依リ最近ノ通商條約中ニ採択セラレタリ

本分科会ノ或委員等ハ本問題ガ會議ノ議題トシテ上程セラレ且本約款ノ除外例ヲ許容スルヲ得ルノ限度、条件並ニ如何ナル多數國間條約ニ關シテ之ヲ認ムベキヤヲ確定スル目的ヲ以テ國際聯盟經濟委員會ノ起草シタル報告書ヲ基礎トシテ討議サルベシトノ希望ヲ表明シタリ

六、本分科会ハ金員一致中歐並東歐諸農業國ノ例外的狀態ハ此ノ際至急之ヲ救濟スル適當ナル方策ノ案出適用ノ努力ヲ要

求スルコトヲ認メタリ

或委員等ハ之等諸国ノ過剩穀物ヲ歐洲ノ輸入国ニ対シ輸入スルコトニ関シ例外的並ニ一時的措置トシテ分量ヲ限り又之ガ為ニ關係國ニ於ケル生産増加ヲ來サズ且第三國ノ承認アルコトヲ条件トスルノ了解ノ下ニ特惠制度ヲ与フルコト考慮セラレ殊ニ「ローザンヌ」並ニ「ストレザ」ノ両會議ニ於テ考慮サレタル旨呈示セリ右ノ利益ヲ享クル諸國ノ与フル補償ハ最惠國約款ノ適用ヲ受クベシ

或委員等ハ特ニ關係第三國トノ論議ヲ容易ナラシムル為本問題ヲ會議ノ議題中ニ加フベキ旨強ク主張セリ然レドモ他委員ハ右諸國救済方法ニ関スル協定ノ締結並適用ハ其狀態ノ重大ナルニ依リ一日ノ遷延モ之ヲ許サズト主張セリ會議開催ニ至ルニ先チ問題ノ解決方法發見セラレ會議ニ於テ之ヲ討論スルノ要ナカラシコトヲ希望スル旨述ベタリ更ニ他ノ諸委員等ハ農業恐慌ハ世界的ナルコト並ニ之ガ永続的救済ノ為ニハ生産組織ノ改良ト共ニ或ル國々ニ於ケル適當ナル保護関税ヲ低減スルノ外ナカルベキ旨指摘セリ

第四 関税品目表

本分科会ハ過去數年ニ亘ル関税品目表統一事業今ヤ完成シ完全ナル草案ガ政府ニ提出サレタルコトヲ知リ満足セリ本品目表ノ一般的採択ヲ促進スル目的ヲ以テ本問題ヲ會議ノ議題トナスコトノ望マシキヲ認メタリ

第五 生産者協定

本分科会ハ國際經濟協定問題ヲ一般的ニハ講究セザリキ此点ニ関シテハ國際聯盟經濟委員会其他ノ機関ノ既ニ為シタル重要ナル事業アルヲ以テ之ヲ不必要トセリ

依テ其審議ヲ小麦、石炭、木材等若干ノ主要生産品ニ關スル國際情勢ノミニ止メタリ本分科会ハ産業協定ハ先ヅ以テ關係産業間ニ討議サルベキモノト認メタリ然レドモ世界會議ハ各國政府間ニ右協定ニ對スル各國政府ノ態度ニ關スル討議ノ適当ナル機會ヲ提供スルモノニシテ此討議ハ特ニ有効ナル措置ヲ採ル為ニ政府ノ干与ヲ必要トスル或種商品ニ關スル産業協

定ノ締結ヲ容易ナラシムベシト提言スルモノアリタリ

小麥市場ノ地位ニ鑑ミ世界各國ニ分散シ組織不完全ナル幾百万ノ生産者ヲ包括スル國際協定ヲ設定スルコトハ甚ダシク困難ナルベキモ一九三一年倫敦ニ開催セラレタル輸出國代表者ノ会合ニ於テ企図セラレタル如ク關係政府間ニ生産又ハ輸出制限ノ努力ヲ為スベキヤニ付問題生ズベシ

石炭業ニ關シテハ一九二九年以來國際聯盟經濟委員会主催ニテ屢々寿府専門家ノ会合開催セラレタルコト想起セラルベシ一九三二年一月ニ於ケル最後ノ専門家会合ノ残シタル印象ニ依レバ生産者ノ國際的機關ノ想案ノ実行可能ナルベキコトヲ信ズベキ理由アリタリ然レドモ爾後石炭業ノ事態重大ナルニモ拘ラズ未ダ何等此ノ方面ニ進展ノ認ムベキモノ現レ居ラズ木材ノ生産過剰並ニ之ニ依リ惹起セラレタル価格激落ハ一九三二年四月國際聯盟經濟委員会ヲシテ關係歐洲諸國ノ殆ド全部ヲ網羅セル専門家會議ヲ開催セシムルニ至レリ

右会合ノ所産トシテ木材ニ關スル國際會議「ウイーン」ニ開催セラレタルが現在ノ處無組織競争ノ危険ヲ避クベキ協定ノ見込ヲ認ムルニ至ラズ

本分科会ハ小麥、石炭及木材問題ハ之ヲ經濟會議ノ議題トナスコト便宜ナルヤ否ヤヲ決スルガ為準備委員会第二次会合ニ於テ考慮スベシトノ意見ナリ専門家ハ右ニ至ル迄其ノ情報ヲ蒐集シ若シ必要アラバ諸關係者ト接触ヲ保ツベシ

第六 公共事業

公共事業問題ニ關シテハ事業ノ資金調達ノ可能性並方法ノ問題ハ其領域内ニ非ザルヲ以テ本分科会ニ於テハ唯經濟的見地ノミヨリ之ヲ考慮セリ

公共事業問題審查委員会ハ各國政府ノ提出シタル諸計劃ノ技術的効用ヲ其ノ独自ノ觀点ヨリ既ニ考慮セルヲ認メタリ事情右ノ如クナルヲ以テ本分科会トシテハ右審查委員会ニ依リ既ニ其ノ經濟的価値ヲ承認セラレタル公共事業ノ計劃ヲ現下ノ危機ヲ緩和スル為ニ採ルベキ一般的計劃ニ包含セシムルコト便宜ナルヤ否ヤノ点ヲ考慮スルヲ要スルノミナリキ

討議ニ当リテハ公共事業ノ遂行ハ其ノ國際協力ノ見地ヨリ考慮スレバ一般経済生活ニ真ノ利益ヲ齎スモノニシテ上記計劃ニ包含セシムベキモノナリトノ見解ノ表明アリタリ特ニ斯ル公共事業ノ遂行ガ活動再開並ニ信賴回復ノ端緒タルコトアルベキコト第一ニハ之ヲ遂行スル諸國殊ニ農業諸国ニ有利ナルモ同時ニ材料供給國ニモ均シク有利ナル影響アルベキコト及右措置ハ失業救済ニ貢献スルコト多大ニシテ延ナ実質的且一般的ニ經濟上ノ利益アルベキコト指摘サレタリ結論トシテ本分科会ハ公共事業問題ヲ會議ノ議題トナサンストスル提案ニ対シテハ反対ナキコトヲ認ムルト共ニ好意的意見ヲ附シ問題ノ財政的方面ニ於ケル可能性ヲ検討セシムル為財政分科会ニ回附セリ蓋シ企劃事業ガ資金ヲ供給サルベキ充分ノ保障ナクシテハ之ヲ討議スルコト無用ナレバナリ

第五章 最終總会

一、既述ノ通り財政及經濟両分科会ハ各其ノ事業ニ関スル「ノート」ヲ作成シ現在ノ階梯ニ於テハ此ノ程度ノ豫備的意見ノ交換ニ止ムルヲ適當トセルヲ以テ十一月七日午後「トリップ」氏（國際決済銀行）議長ノ下ニ準備委員会委員全員出席シ今次会合ノ最終總会（第三回總会）ヲ開キ劈頭先づ両分科会ノ「ノート」ヲ議題トシ両分科会委員長ヨリ各其ノ事業ニ関スル口頭ノ説明アリタル後議長「トリップ」氏（決済銀行）之ヲ承ケテ事業ノ全ク豫備的性質ノモノタルコト及經濟財政両分野ノ共同動作ノ絶対ニ必要ナルコトヲ指摘セリ

二、次デ「サ一、フレデリック、リース、ロス」氏（英）ハ財政經濟両分科会ノ各「ノート」ハ其財政經濟両分科会ノ事業ノ關聯ニ付述ブル處尠キコトヲ指摘シタル後物価下落ハ債務國ヲ非常ノ困難ニ陥レ其ノ信用ヲ害シテ新ナル借入ノ力ヲ奪フノミニラズ債權國ノ担保ヲモ害シ國際的金融制度ニ非常ナル影響ヲ及ボスベシトノ「マクミラン」報告ノ句ヲ引用シテ物価問題解決ノ緊要ヲ説キ財政分科会「ノート」ニ於テ此ノ点ニ言及スル處少キコトヲ遺憾トシ此ノ点ニ付何事

モ為シ得ズトセバ物価水準ハ変更スルコト能ハズ又金融制度ハ統御シ得ザルコトヲ示スモノニシテ失敗ノ告白ナリト喝破セル後物価水準ハ通貨的及非通貨的因子ノ結果ニシテ通貨的因子ニ変更ヲ加フルコトニ依リ動カシ得ベク一国ノ物価ヲ引上げ得ルコト證明サレタル今日世界物価モ協同的行為ニ依リ引上げ得ベシト為シ更ニ一八九六一七年ノ恐慌ガ長期ニ亘ル低金利政策ニ依リ解決サレタル例ヲ挙ゲ今ヤ同様ニ信用ノ基礎ヲ拡張スルコト必要ニシテ此点ニ付諸員ノ考慮ヲ求ムトシ英國トシテハ是以上為スト能ハザルモ責任ハ餘裕金準備其ノ他利用シ得ベキ資産ヲ有スル國ニ在リトン利用シ得ベキ「クレディット」ノ利用ニ付両分科会委員ノ研究ヲ求メ次デ恐慌ニ打勝タントセバ餘裕金準備ヲシテ其ノ充分ノ効果ヲ有セシメザルベカラズ又貨物ハ物価水準ノ低キ國ヨリ受入レザルベカラザルニ関稅其ノ他ニ依リ輸入ヲ防遏スルニ於テハ問題ノ解決極メテ困難ナリトシ難局打開ノ為當局者ハ立法其ノ他アラユル手段ヲ試ミルノ要アリトシ各員ノ考慮ト政府ニ対スル勸告ヲ求メタリ

三、「ボツセ」氏（独）ハ「サ一、フレデリック、リース、ロス」氏ノ意見ヲ支持シ特ニ財政經濟両問題ノ緊密關係ト同時併行處理ノ必要アルコト及委員會ノ確定的且實際的結果ニ到達スルノ要アルコトヲ力説シ「ドニツクル」氏（匈）ハ中部及東部歐洲問題ノ緊要ヲ説キ又議長「トリップ」氏（國際決済銀行）ヨリ物価ノ人為的引上ノ危險ヲ述べ両分科会ノ「ノート」ニ関スル討議ヲ終リタリ因ニ右「ノート」ハ外部ニ發表セザルモノトス

四、次デ議長「トリップ」氏（決済銀行）ヨリ聯盟理事会 Organisation Committee 議長宛書簡案及新聞紙ニ対スル「コムミニニケ」案ヲ議シタルガ右ハ「ボツセ」氏（独）「サ一、フレデリック、リースロス」氏（英）「ガルネリ」氏（伊隨）及「フレーザー」氏（國際決済銀行）「デー」氏（米）及「パルマンチエ」氏（仏）ヨリ成ル起草委員会ニ委ネ又財政分科会ニ於テ公共事業問題ニ關シ調査ヲ委託スル為選任スベシト為セル委員ハ「ベネデューチエ」氏（伊）「リスト」氏（仏）及「フレーザー」氏（國際決済銀行）トシ更ニ「ミチエリス」氏（農）又ハ其ノ代人ヲモ加フルコトトシテ第一次会合ヲ終レリ

編注一

本報告書は、本件会議のわが方委員である河合（博之）駐ポーランド公使および津島（寿一）海外駐劄財務官が、昭和七年十一月三十日付で内田（康哉）外務大臣に提出したものである。

編注二

本報告書原本には、付属書は添付されていない。

二 ロンドン国際経済会議

2 「経済財政会議準備委員会第一二次会合報告」